

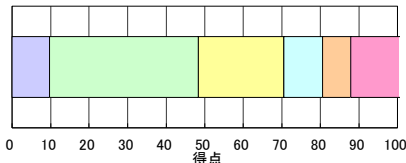
地球温暖化対策推進状況評価書(第一区分事業所)

事業所の概要

指定番号	220000							
事業者の氏名	東京環境不動産株式会社 代表取締役社長 東京 太郎							
事業所の名称	東京環境不動産ビルディング							
主たる用途	テナントビル	事務所	商業施設(物販)	商業施設(飲食)	医療施設	情報通信施設	文化・娯楽施設	駐車場
敷地面積	14,000 m ²	延床面積又は事業所の床面積	100,000 m ²	棟数	1 棟			
階数 地上	34 階	最も古い建物の竣工年月	2011年4月	最も新しい建物の竣工年月	2014年4月			
基準排出量	6,500 t-CO ₂ /年	前年度CO ₂ 排出量実績	3,250 t-CO ₂ /年	32.5 kg-CO ₂ /m ² ・年				
		前年度一次エネルギー消費量実績	138,000 GJ/年	1,380 MJ/m ² ・年				

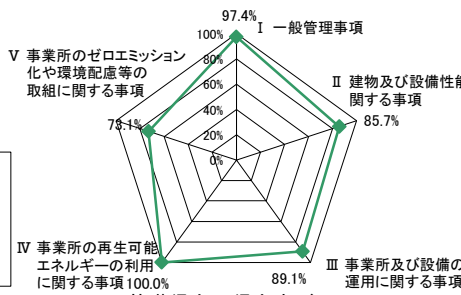
総合評価結果

基礎得点	87.8 点	不合格要件の数	1	I 一般管理	II 性能	III 運用	IV 再エネ	V ゼロエミ化	合計	
総合得点	109.1 点	I ~ III	1	基礎得点	9.7	38.5	22.2	10.0	7.3	87.8
判定	Silver	IV・V	0	加得点	0.0	7.3	2.8	11.0	0.0	21.3

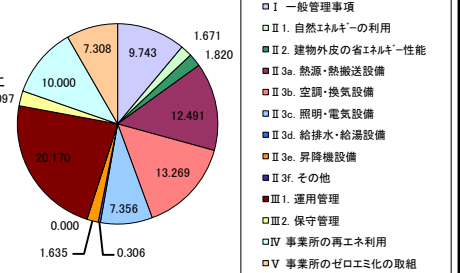


- I 一般管理事項
- II 建物及び設備性能に関する事項
- III 事業所及び設備の運用に関する事項
- IV 事業所の再生可能エネルギーの利用に関する事項
- V 事業所のゼロエミッション化や環境配慮等の取組に関する事項
- 加得点項目

総合得点の構成



基礎得点の得点率バランス

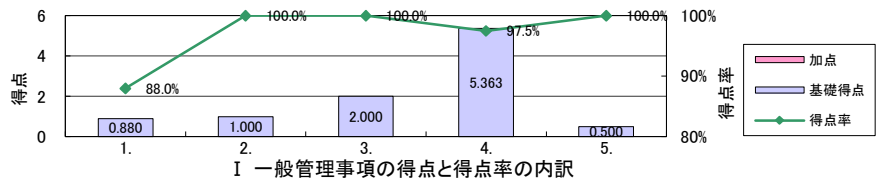


基礎得点の得点バランス

要求事項別の評価結果

I 一般管理事項

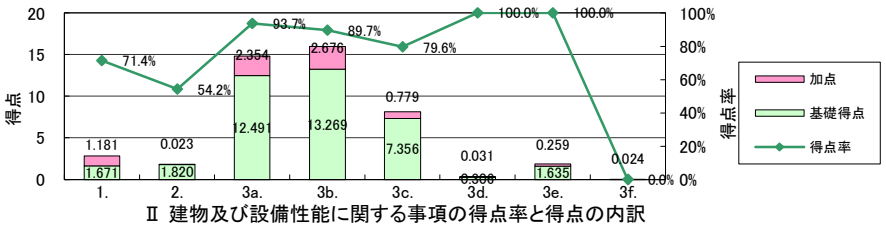
1. CO2削減推進体制の整備
2. 図面、管理標準等の整備
3. 主要設備等に関する計測・計量及び記録
4. エネルギー消費量・CO2排出量の管理
5. 保守・点検の管理



I 一般管理事項の得点と得点率の内訳

II 建物及び設備性能に関する事項

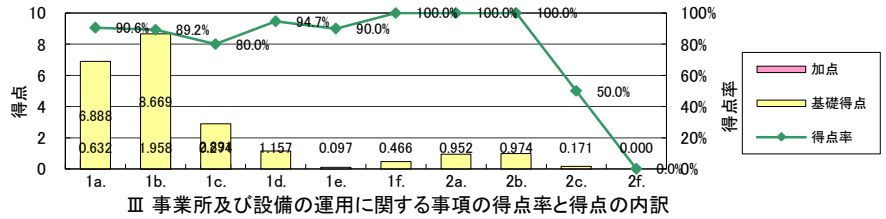
1. 自然エネルギーの利用
2. 建物外皮の省エネルギー性能
3. 設備・制御系の省エネルギー性能
 - a. 熱源・熱搬送設備
 - b. 空調・換気設備
 - c. 照明・電気設備
 - d. 給排水・給湯設備
 - e. 昇降機設備
 - f. その他



II 建物及び設備性能に関する事項の得点率と得点の内訳

III 事業所及び設備の運用に関する事項

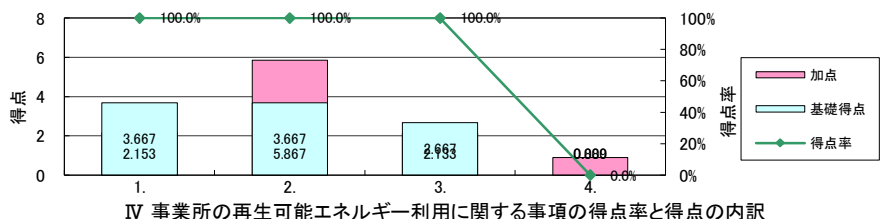
1. 運用管理
 - a. 熱源・熱搬送設備
 - b. 空調・換気設備
 - c. 照明・電気設備
 - d. 給排水・給湯設備
 - e. 昇降機設備
 - f. その他
2. 保守管理
 - a. 熱源・熱搬送設備
 - b. 空調・換気設備
 - c. 照明・電気設備
 - f. その他



III 事業所及び設備の運用に関する事項の得点率と得点の内訳

IV 事業所の再生可能エネルギーの利用に関する事項

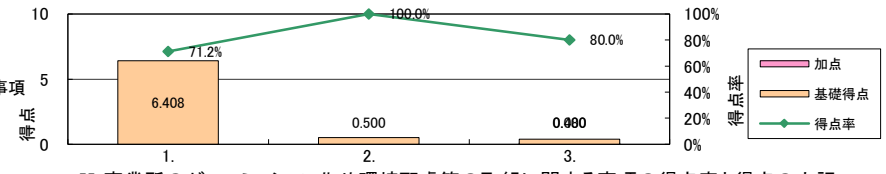
1. オンサイトの再生可能エネルギーの利用
2. オフサイトの再生可能エネルギーの利用
3. 電気需給契約等による再生可能エネルギーの利用
4. 電気需要最適化



IV 事業所の再生可能エネルギー利用に関する事項の得点率と得点の内訳

V 事業所のゼロエミッション化や環境配慮等の取組に関する事項

1. CO2排出・エネルギー消費等の削減
2. 気候変動適応策
3. その他の環境配慮の取組



V 事業所のゼロエミッション化や環境配慮等の取組に関する事項の得点率と得点の内訳

評価・検証の概要		認定申請	2025年度	Ver.IV2026
評価日	2022年6月1日			
評価者	会社名等	東京環境不動産株式会社		
	所属	総務部環境対策室長		
	氏名	東京 次郎		
検証日	2022年8月1日			
検証者	会社名等	株式会社 日本地球温暖化対策コンサルタント		
	所属	技術部長		
	氏名	日本 花子		

事業所の概要	指定番号	220000	評価No.	
地球温暖化対策事業者の氏名	東京環境不動産株式会社 代表取締役社長 東京 太郎			
事業所の名称	東京環境不動産ビルディング			
主たる用途	テナントビル	事業所の削減義務率	41 %	
敷地面積	14,000 m ²	延床面積又は事業所の床面積	100,000 m ²	棟数 1 棟
階数 地上	34 階	最も古い建物の竣工年月(西暦)	2011年4月	最も新しい建物の竣工年月(西暦) 2014年4月
基準排出量	6,500 t-CO ₂ /年	前年度CO ₂ 排出量実績	3,250 t-CO ₂ /年	32.5 kg-CO ₂ /m ² ・年
基準一次エネルギー消費量	230,000 GJ/年	前年度一次エネルギー消費量実績	138,000 GJ/年	1,380 MJ/m ² ・年

用途別床面積・用途別エネルギー消費比率

※ 床面積は各用途の共用部分を含んだ面積とし、複合用途の場合は全体共用面積を各用途の面積比で按分したものを各用途の面積に加えた数値とする。

用途名	含まれる用途	床面積 [m ²]	用途別エネルギー消費比率
事務所	オフィスビル、官公庁庁舎、警察署、消防署、刑務所、拘留所、斎場、研究施設(事務所的なものに限る。)、宗教施設 等	80,000	77.5%
商業施設(物販)	ショッピングセンター、百貨店、スーパー、遊技場、温浴施設、空港、バスターミナル 等	1,000	1.8%
商業施設(飲食)	飲食店、食堂、喫茶店 等	3,000	5.4%
宿泊施設	ホテル、旅館、公共宿泊施設、結婚式場・宴会場、福祉施設 等		
教育施設	小学校、中学校、高等学校、大学、高等専門学校、専修学校、各種学校 等		
医療施設	病院、大学病院 等	1,000	1.7%
情報通信施設	電算センター、データセンター、管制施設 等	1,000	4.4%
文化・娯楽施設	美術館、博物館、図書館、集会場、展示場、劇場、映画館、体育館、競技場、運動施設、遊園地、競馬場、競艇場 等	4,000	4.5%
物流施設	常温倉庫、冷凍冷蔵倉庫、トラックターミナル、物流センター、卸売市場 等		
研究施設	実験・研究施設、クリーンルーム、恒温恒湿室 等		
放送局	放送局、電波塔 等		
水族館	動物園、水族館 等		
駐車場	地下駐車場、車庫 等	10,000	4.8%
熱供給施設	熱供給施設 等		
合計	標準一次エネルギー消費原単位 2,065 MJ/m ² ・年 33.2%削減	100,000	100.0%

エネルギー消費先比率

※ エネルギー消費先比率の一次エネルギー実測値が90%以上の場合は、採用値の欄に数値を直接入力してもよい。

エネルギー消費先区分	項目	細目	主なエネルギー消費機器		一次エネルギー実測値		標準比率	採用値
					[GJ/年]	比率		
熱源	熱源本体	熱源補機	冷凍機、冷温水機、ボイラー、パッケージ形空調機等		35,690	25.9%	24.9%	24.9%
		熱源補機	冷却塔、冷却水ポンプ、冷温水1次ポンプ等		6,230	4.5%	4.4%	4.4%
熱搬送	水搬送	空気搬送	冷温水2次ポンプ		4,180	3.0%	2.9%	2.9%
		空気搬送	空調機、ファンコイルユニット等		8,240	6.0%	11.0%	11.0%
給湯	給湯	ボイラー、循環ポンプ、電気温水器等		310	0.2%	1.5%	1.5%	
照明・コンセント	照明	照明器具		22,430	16.3%	19.8%	19.8%	
		コンセント	事務機器等		19,450	14.1%	17.8%	17.8%
動力	換気	換気	駐車場ファン等		5,670	4.1%	9.4%	9.4%
		給排水	揚水ポンプ等		760	0.6%	0.7%	0.7%
		昇降機	エレベータ、エスカレータ等		2,870	2.1%	2.5%	2.5%
その他	その他	トランス損失、店舗動力等		560	0.4%	5.1%	5.1%	
計	全般	事業所全体のエネルギー消費量の合計		106,390	77.1%	100.0%	100.0%	
熱負荷低減	外皮	外皮	建物外皮からの熱負荷を処理するための空調エネルギー消費量の想定比率				4.3%	4.3%
		外気	外気導入による熱負荷を処理するための空調エネルギー消費量の想定比率				12.2%	12.2%
		熱負荷	事業所全体の熱負荷を処理するための空調エネルギー消費量(熱源+熱搬送)の想定比率				43.2%	43.2%

地球温暖化対策推進状況評価結果一覧表(第一区分事業所)

※ 評価分類の欄の◎印は必須項目、○印は一般項目、+印は加点項目を示す。
 不合格の要件の欄の×印は、トップレベル事業所の必須要件を満足しない場合を示す。

評価項目の区分	評価分類	No.	評価項目	不合格要件	評価点	重み係数	得点	得点集計	
I 一般管理事項	1. CO2削減推進体制の整備	◎ 1.1	CO2削減推進会議等の設置及び開催		0.8	0.600	0.480	0.880 +0.000	
		◎ 1.2	PDCA管理サイクルの実施体制の整備		1	0.400	0.400		
		+ 1.3	環境認証の取得		0	0.080	0.000		
	2. 図面・管理標準等の整備	◎ 2.1	図面・改修履歴等の整備		1	0.300	0.300	1.000 +0.000	
		◎ 2.2	設備台帳等の整備		1	0.300	0.300		
		◎ 2.3	管理標準等の整備		1	0.400	0.400		
	3. 主要設備等に関する計測・計量及び記録	◎ 3.1	ビルエネルギーマネジメントシステム(BEMS)等の導入		1	0.500	0.500	2.000 +0.000	
		◎ 3.2	電力負荷状況・発電状況等の把握に必要な計測・計量設備の導入		1	0.200	0.200		
		◎ 3.3	エネルギー消費先別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入		1	0.400	0.400		
		◎ 3.4	系統別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入		1	0.300	0.300		
		○ 3.5	エネルギー供給設備の分析に必要な計測・計量設備の導入		1	0.300	0.300		
		○ 3.6	代表階又は代表エリアの使用量把握に必要な計測・計量設備の導入		1	0.300	0.300		
		+ 3.7	空調の使用量に応じた課金体系の導入		0	0.320	0.000		
	4. エネルギー消費量・CO2排出量の管理	◎ 4.1	エネルギー消費特性の把握、エネルギー消費原単位の算出及び管理		1	0.220	0.220	5.363 +0.000	
		◎ 4.2	CO2排出量の管理		1	0.110	0.110		
		◎ 4.3	CO2削減目標の設定、CO2削減対策計画の立案及び実績の集約・評価の実施		1	1.100	1.100		
		◎ 4.4	CO2削減対策の啓発活動の実施		1	0.220	0.220		
		○ 4.5	エネルギー供給設備の運転解析の実施		1	0.550	0.550		
		◎ 4.6	改善策の立案・実施及び効果検証の実施		1	1.100	1.100		
		○ 4.7	コミショニング(性能検証)の実施		1	1.925	1.925		
○ 4.8		利用者等への環境・エネルギー情報提供システムの導入		0.5	0.275	0.138			
5. 保守・点検の管理	◎ 5.1	保守・点検計画の策定及び実施		1	0.500	0.500	0.500		
II 建物及び設備性能に関する事項	1. 自然エネルギーの利用	○ 1.1	自然採光を利用したシステムの導入		0.2	0.835	0.167	1.671 +1.181	
		○ 1.2	自然通風を利用したシステムの導入		1	1.504	1.504		
		+ 1.4	未利用エネルギーシステムの導入		1	1.181	1.181		
		+ 1.5	年間を通して安定した地中温度を利用したシステムの導入		0	0.073	0.000		
		○ 2.1	高性能な建物外皮の導入		0.5048	3.084	1.557		1.820 +0.023
	○ 2.2	風除室、回転扉等による隙間風対策の導入		0.95	0.181	0.172			
	○ 2.3	屋上緑化の導入		1	0.091	0.091			
	+ 2.4	ブラインドの日射制御及びスケジュール制御の導入		0.8	0.029	0.023			
	+ 2.5	壁面緑化の導入		0	0.054	0.000			
	3. 設備・制御系の省エネルギー性能	a. 熱源・熱搬送設備	◎ 3a.1	高効率熱源機器の導入		0.957	7.694	7.363	12.491 +2.354
			◎ 3a.2	高効率冷却塔の導入		0.854	0.449	0.384	
			◎ 3a.3	高効率空調用ポンプの導入		0.9	0.689	0.621	
			◎ 3a.5	大温度差送水システムの導入		1	0.763	0.763	
			◎ 3a.6	水搬送経路の密閉化		1	0.508	0.508	
			◎ 3a.7	蒸気弁・フランジ部の断熱	×	0	0.191	0.000	
			◎ 3a.8	熱源の台数制御の導入		1	0.409	0.409	
			◎ 3a.9	冷却塔ファン等の台数制御又は発停制御の導入		1	0.139	0.139	
			◎ 3a.10	空調2次ポンプ変流量制御の導入		1	0.572	0.572	
			○ 3a.11	空調2次ポンプの適正容量分割又は小容量ポンプの導入		1	0.350	0.350	
			○ 3a.12	熱源機器出口設定温度の遠方制御の導入		1	0.164	0.164	
			○ 3a.13	空調1次ポンプ変流量制御の導入		0.8	0.424	0.339	
			○ 3a.14	冷却水ポンプ変流量制御の導入		0.8	0.463	0.370	
			○ 3a.15	空調2次ポンプの末端差圧制御の導入		1	0.318	0.318	
			○ 3a.16	熱交換器の断熱		1	0.191	0.191	
			+ 3a.17	蓄熱システムの導入		1	1.114	1.114	
			+ 3a.18	高効率コージェネレーションの導入		1	1.114	1.114	
			+ 3a.19	冷却塔ファンインバータ制御の導入		0	0.111	0.000	
			+ 3a.20	フリークーリングシステムの導入		0	0.232	0.000	
			+ 3a.22	配管摩擦低減剤(DR剤)の導入		0	0.381	0.000	
			+ 3a.23	中温冷水利用システムの導入		0	0.437	0.000	
+ 3a.24			統合熱源制御システムの導入		0	0.873	0.000		
+ 3a.25			空調2次ポンプの送水圧力設定制御の導入		1	0.127	0.127		
+ 3a.26			エネルギーの面的利用の導入		0	0.437	0.000		

評価項目の区分		評価 分類	No.	評価項目	不合格 要件	評価点	重み 係数	得点	得点 集計	
II 建物 及び 設備 性能 に 関 す る 事 項	3 ・ 設 備 ・ 制 御 系 の 省 エ ネ ル ギ ー 性 能	b. 空調・換気設備	◎	3b.1	高効率空調機の導入		0.976	1.804	1.761	13.269 +2.676
			◎	3b.2	高効率パッケージ形空調機の導入		0.821	0.290	0.238	
			◎	3b.3	高効率ファンの導入		0.717	1.220	0.874	
			◎	3b.4	ウォーミングアップ時の外気遮断制御の導入		1	0.818	0.818	
			○	3b.5	エレベーター機械室の温度制御の導入		1	0.163	0.163	
			○	3b.6	電気室の温度制御の導入		1	0.488	0.488	
			○	3b.7	電算室の冷気と暖気が混合しない設備の導入		0.2	0.064	0.013	
			○	3b.8	空調機の変风量システムの導入		1	2.843	2.843	
			○	3b.9	大空間の居住域空調又は局所空調システムの導入		1	0.483	0.483	
			○	3b.10	空調機の気化式加湿器の導入		0.8	0.409	0.327	
			○	3b.11	空調温度制御の不感帯の設定		0.8	0.859	0.687	
			○	3b.12	外気冷房システムの導入		0.8	1.331	1.065	
			○	3b.13	CO2濃度による外気量制御の導入		0.8	2.578	2.063	
			○	3b.14	ファンコイルユニットの比例制御の導入		1	0.022	0.022	
			○	3b.15	空調のセキュリティー連動制御の導入		1	0.234	0.234	
			○	3b.16	空調の最適起動制御の導入		1	0.483	0.483	
			○	3b.17	非使用室の空調発停制御の導入		-	-	-	
			○	3b.18	駐車場ファンのCO又はCO2濃度制御の導入		1	0.606	0.606	
			○	3b.19	熱源機械室ファンの燃焼機器等連動停止制御の導入		1	0.102	0.102	
			+	3b.20	全熱交換器の導入		0.8	1.964	1.571	
			+	3b.21	大温度差送風空調システムの導入		0.8	0.420	0.336	
			+	3b.22	床吹出空調システムの導入		0	0.839	0.000	
			+	3b.23	放射冷暖房空調システムの導入		0	1.971	0.000	
			+	3b.24	冷却除湿再熱方式以外の除湿システムの導入		0	0.270	0.000	
			+	3b.25	潜熱・顕熱分離方式省エネ空調システムの導入		0	0.713	0.000	
			+	3b.26	デシカント空調システムの導入		0	1.164	0.000	
			+	3b.27	ハイブリッド空調システムの導入		0	0.756	0.000	
			+	3b.28	置換換気システムの導入		0	0.650	0.000	
			+	3b.29	電算室の局所冷房設備の導入		0	0.051	0.000	
			+	3b.30	高効率厨房換気システムの導入		0	0.334	0.000	
			+	3b.31	空調機の間欠運転制御の導入		0.2	0.875	0.175	
			+	3b.32	厨房外調機・ファンの风量モード切替制御の導入		1	0.159	0.159	
			+	3b.33	厨房外調機の換気モード切替制御の導入		1	0.042	0.042	
			+	3b.34	人感センサーによる換気制御の導入		0	0.130	0.000	
			+	3b.35	ファンの手動調整用インバータの導入		0.2	1.968	0.394	
			+	3b.36	気流感創出ファン・サーキュレーションファンの導入		0	0.386	0.000	
			+	3b.37	厨房排気の熱回収システムの導入		0	0.313	0.000	
		c. 照明・電気設備	◎	3c.1	高効率照明器具の導入		0.531	3.927	2.085	7.356 +0.779
	◎		3c.2	高輝度型誘導灯・蓄光型誘導灯の導入		1	0.376	0.376		
	◎		3c.3	照明の初期照度補正制御の導入		1	1.061	1.061		
	◎		3c.4	照明のゾーニング制御の導入		1	1.044	1.044		
	◎		3c.5	高効率変圧器の導入		0.9	0.457	0.412		
	○		3c.7	高効率UPSの導入		1	0.012	0.012		
	○		3c.8	照明の昼光利用照明制御の導入		1	0.708	0.708		
○	3c.9		照明の人感センサーによる在室検知制御の導入		1	0.627	0.627			
○	3c.10		照明のタイムスケジュール制御の導入		1	0.522	0.522			
○	3c.11		照明のセキュリティー連動制御の導入		1	0.202	0.202			
○	3c.12		デマンド制御システムの導入		1	0.307	0.307			
+	3c.13	タスク&アンビエント照明システムの導入		0	2.022	0.000				
+	3c.14	高効率給電設備の導入		1	0.646	0.646				
+	3c.15	照明の明るさ感知による自動点滅制御の導入		1	0.134	0.134				
+	3c.16	照明の局所制御の導入		0	0.668	0.000				
+	3c.17	誘導灯の消灯制御の導入		0	0.167	0.000				
+	3c.18	事務室のセンサーによる照明制御単位の細分化		0	0.243	0.000				
	d. 給排水・給湯設備	◎	3d.1	高効率給水ポンプの導入		1	0.074	0.074	0.306 +0.031	
○		3d.2	大便器の節水器具の導入		1	0.162	0.162			
○		3d.4	洗面器の自動水栓の導入		1	0.022	0.022			
○		3d.6	便所洗面・湯沸室への局所給湯システムの導入		1	0.047	0.047			
+		3d.7	排水再利用システム等の導入		1	0.031	0.031			
+		3d.8	高効率給湯ヒートポンプユニットの導入		0	0.370	0.000			
+		3d.9	自然冷媒ヒートポンプ給湯器の導入		0	0.211	0.000			
+		3d.10	潜熱回収給湯器の導入		0	0.127	0.000			
+		3d.11	水道本管圧力利用システムの導入		0	0.059	0.000			

評価項目の区分			評価 分類	No.	評価項目	不合格 要件	評価点	重み 係数	得点	得点 集計				
Ⅱ 事 業 所 及 び 設 備 の 運 用 に 関 す る 事 項	3 ・ 設 備 ・ 制 御 系 の 省 エ ネ ル ギ ー	e. 昇降機設備	◎	3e.1	エレベーターの可変電圧可変周波数制御方式の導入		1	1.319	1.319	1.635 +0.259				
			◎	3e.2	エレベーターの群管理制御の導入		1	0.264	0.264					
			○	3e.3	エレベーターかご内の照明、ファン等の不使用時停止制御の導入		1	0.053	0.053					
			+	3e.4	エレベーターの電力回生制御の導入		1	0.234	0.234					
			+	3e.5	エスカレーターの自動運転方式又は微速運転方式の導入		1	0.025	0.025					
		f. その他	+	3f.3	高効率冷凍・冷蔵設備の導入		0.75	0.032	0.024	0.000 +0.024				
			+	3f.4	高効率エアコンプレッサーの導入		0	0.043	0.000					
			+	3f.5	高効率ブロワ・その他設備に係る高効率ポンプの導入		0	0.043	0.000					
			+	3f.6	高効率クリーンルームの導入		0	0.000	0.000					
			+	3f.7	高効率厨房機器の導入		0	0.023	0.000					
			+	3f.8	ブロワ・その他設備に係るポンプのインバータ制御の導入		0	0.043	0.000					
			+	3f.9	ドラフトチャンバーの換気量可変制御システムの導入		0	0.515	0.000					
			Ⅲ 事 業 所 及 び 設 備 の 運 用 に 関 す る 事 項	1 ・ 運 用 管 理	a. 熱源・熱搬送設備	◎	1a.1	燃焼機器の空気比の管理			1	1.054	1.054	6.888 +0.632
						◎	1a.2	蒸気ボイラーの設定圧力の適正化			-	-	-	
		◎				1a.3	冷凍機の冷却水温度設定値の調整		1	0.843	0.843			
		+				1a.4	熱のエネルギー効率の実績		0.5	1.265	0.632			
		○				1a.5	部分負荷時の熱源運転の適正化		1	1.581	1.581			
		○				1a.6	部分負荷時の空調用ポンプ運転の適正化		1	0.736	0.736			
		○				1a.7	蒸気ボイラーの給水水質・ブロー量の管理		-	-	-			
○	1a.8	熱源機器の冷温水出口温度設定値の調整					1	0.790	0.790					
○	1a.9	蓄熱槽の管理					1	1.129	1.129					
○	1a.10	コージェネレーションの運転の適正化					-	-	-					
○	1a.12	ミキシングロス防止のためのバルブ開度の確認					1	0.263	0.263					
○	1a.13	インバータ制御系統のバルブの開度調整					1	0.307	0.307					
○	1a.14	熱源不要期間の熱源機器等停止					-	-	-					
○	1a.15	空調開始時の熱源起動時間の適正化					-	-	-					
○	1a.16	空調停止時の熱源運転時間の短縮					-	-	-					
○	1a.17	空調2次ポンプ変流量制御のインバータ周波数下限値の調整					0.5	0.368	0.184					
○	1a.18	再生可能エネルギー等熱利用システムのバックアップ運転の適正化					0	0.527	0.000					
b. 空調・換気設備	◎	1b.1				室使用開始時の空調起動時間の適正化		1	1.213	1.213	8.669 +1.958			
	◎	1b.2			CO2濃度・外気温湿度による外気取入量の調整		1	0.395	0.395					
	◎	1b.3			居室の室内温度の適正化		1	1.399	1.399					
	◎	1b.4	ファンの間欠運転の実施		1	1.015	1.015							
	○	1b.5	電算室の空調機運転の適正化		1	0.123	0.123							
	○	1b.6	空調運転時間の短縮		0.56	1.213	0.679							
	○	1b.7	冬季におけるペリメータ設定温度の適正化		1	0.464	0.464							
	○	1b.8	クールビズ・ウォームビズによる空調設定温度の緩和		0.5	1.038	0.519							
	○	1b.9	居室以外の室内温度の緩和		1	0.466	0.466							
	○	1b.10	冷却除湿再熱の停止		-	-	-							
	○	1b.11	建物全体の給排気バランスの管理		1	0.466	0.466							
	○	1b.12	エレベーター機械室・電気室の室内設定温度の適正化		1	0.710	0.710							
	○	1b.13	エレベーター機械室・電気室のファンの夏季停止		1	0.913	0.913							
	○	1b.14	エレベーター機械室・電気室の空調機の給気・還気設定温度の適正化		1	0.304	0.304							
	+	1b.15	冬季冷房になる室の設定温度の適正化		1	0.299	0.299							
	+	1b.16	ファンのプーリーダウンの実施		0	0.244	0.000							
	+	1b.17	地下駐車場のスロープ等からの自然給気		1	0.363	0.363							
	+	1b.18	パッケージ形空調機の省エネチューニングの実施		0	0.043	0.000							
	+	1b.19	変流量システムの最小風量設定値の調整		0.2	1.014	0.203							
	+	1b.20	変流量システムのインバータ周波数下限値の調整		1	1.014	1.014							
	+	1b.21	厨房外調機の換気モード切替制御による換気モード運転の適正化		1	0.081	0.081							
	c. 照明・電気設備	◎	1c.1	居室以外の照度条件の緩和		0.85	2.565	2.181	2.891 +0.274					
○		1c.2	清掃等の日常メンテナンス作業時の照明点灯時間・照度条件の適正化		0.5	0.428	0.214							
○		1c.3	不要期間・不要時間帯の変圧器の遮断		-	-	-							
○		1c.4	事務室の室内照度の適正化		0.8	0.621	0.497							
+		1c.5	事務室の照度条件の緩和		0	0.828	0.000							
+		1c.6	時間外等の照明点灯エリアの集約化		0	0.342	0.000							
+		1c.7	人感センサーのタイマー設定時間の適正化		0.8	0.342	0.274							
d. 給排水・給湯設備	◎	1d.1	給水圧力の管理		1	0.121	0.121	1.157 +0.000						
	◎	1d.2	貯湯温度設定の緩和		-	-	-							
	○	1d.3	揚水ポンプのバルブの開度調整		1	0.076	0.076							
	○	1d.4	洗浄便座暖房の夏季停止		1	0.302	0.302							
	○	1d.5	給水・給湯バルブの調整		1	0.076	0.076							
	○	1d.6	給湯温度設定の緩和		1	0.162	0.162							
	○	1d.7	貯湯式電気温水器の夜間・休日の電源停止		1	0.162	0.162							
	○	1d.8	便所洗面給湯の給湯中止又は給湯期間の短縮		0.8	0.324	0.259							
	○	1d.9	給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止		-	-	-							

評価項目の区分		評価分類	No.	評価項目	不合格要件	評価点	重み係数	得点	得点集計		
Ⅲ 事業所及び設備の運用に関する事項	1 運用管理	e. 昇降機設備	○	1e.1	夜間・休日等のエレベーターの運転台数の削減		1	0.054	0.054	0.097	
			○	1e.2	エレベーターかご内の空調設定温度の緩和		0.8	0.054	0.043	+0.000	
		f. その他	○	1f.1	外部に面する出入口の開閉の管理		1	0.466	0.466	0.466	+0.000
			○	1f.2	非稼働エリアのエア供給弁の閉止		-	-	-		
			○	1f.3	非使用時間帯のエアコンプレッサーの停止		-	-	-		
			○	1f.4	エアコンプレッサーの設定圧力の適正化		-	-	-		
			○	1f.5	エアコンプレッサー吸入空気温度の管理		-	-	-		
			○	1f.6	冷凍・冷蔵設備冷却器の除霜(デフロスト)の実施		-	-	-		
			○	1f.7	情報通信施設のPUEの実績		-	-	-		
	+		1f.8	情報通信施設のPUEの改善		0	1.382	0.000			
	2 保守管理	a. 熱源・熱搬送設備	◎	2a.1	熱源機器の点検・清掃		1	0.632	0.632	0.952	+0.000
			◎	2a.2	冷却水の適正な水質管理及び冷却塔の充填材の清掃		1	0.072	0.072		
			○	2a.3	熱源用制御機器の点検及び制御バルブ等の作動チェック		1	0.211	0.211		
			○	2a.4	熱交換器の清掃		1	0.037	0.037		
			○	2a.5	蒸気配管・バルブ・スチームトラップからの漏れ点検		-	-	-		
			+	2a.6	熱源機器のメーカーによる遠隔監視		0	0.084	0.000		
		b. 空調・換気設備	◎	2b.1	空調機・ファンコイルユニット等のフィルターの清浄		1	0.190	0.190	0.974	+0.000
			○	2b.2	センサー類の精度チェック及び制御ダンパ等の作動チェック		1	0.187	0.187		
			○	2b.3	空調機・ファンコイルユニット等のコイルフィンの清浄		1	0.048	0.048		
			○	2b.4	パッケージ屋外機のフィンコイル洗浄		1	0.002	0.002		
			○	2b.5	省エネファンベルトへの交換		1	0.548	0.548		
			+	2b.6	パッケージ形空調機のメーカーによる遠隔監視		0	0.002	0.000		
		c. 照明・電気設備	○	2c.1	照明用制御設備の作動チェック		1	0.171	0.171	0.171	+0.000
			○	2c.2	照明器具の清掃及び定期的なランプ交換		0	0.171	0.000		
			○	2c.3	ランプ交換時の初期照度補正リセットの実施		-	-	-		
		f. その他	○	2f.1	冷凍・冷蔵庫の保温管理		-	-	-	-	0.000
			○	2f.2	エア配管・バルブからの漏れ点検及びエアコンプレッサー吸込みフィルターの清掃		-	-	-	-	
		Ⅳ 事業所の再生可能エネルギーの取組	1. オンサイトの再生可能エネルギーの利用	○	1.1	太陽光発電システムの導入		1	3.667	3.667	3.667
+				1.2	大規模太陽光発電システムの導入		0.267	5.867	1.566		
+	1.3			再生可能エネルギーシステムの導入		0.5	1.173	0.587			
2. オフサイトの再生可能エネルギーの利用	○		2.1	オフサイトの再生可能エネルギー発電設備の導入		1	3.667	3.667	3.667	+5.867	
	+		2.2	追加性等のあるオフサイトの再生可能エネルギー発電設備の導入		1	5.867	5.867			
3. 電気需給契約等による再生可能エネルギーの利用	○		3.1	再生可能エネルギー電気の購入		1	2.667	2.667	2.667	+2.133	
	+		3.2	追加性等のある再生可能エネルギー電気の購入		1	2.133	2.133			
4. 電気需要最適化	○		4.1	駐車場のZEV充電設備の整備		-	-	-	-	0.000	
	+	4.2	デマンドレスポンスに対応した設備の導入		0.5	0.889	0.444	+0.889			
	+	4.3	小売電気事業者等とのデマンドレスポンス契約		0.5	0.889	0.444				
Ⅴ 事業所の環境配慮等ゼロエミッションに関する取組	1. CO2排出・エネルギー消費等の削減	◎	1.1	ゼロエミッション化へのロードマップの策定		1	2.250	2.250	6.408	+0.000	
		○	1.2	ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化へのロードマップの策定		1	1.080	1.080			
		◎	1.3	CO2排出量の削減実績		0.2	2.250	0.450			
		○	1.4	一次エネルギー消費量の削減実績		0.68	1.350	0.918			
		○	1.5	再生可能エネルギー電気の利用割合		1	1.350	1.350			
		○	1.6	特定温室効果ガス以外の温室効果ガス排出量の削減実績		0.5	0.720	0.360			
	2. 気候変動適応策	○	2.1	気候変動への適応		1	0.500	0.500	0.500		
	3. その他の環境配慮の取組	○	3.1	持続可能な低炭素資材等の導入		0.8	0.500	0.400	0.400	+0.080	
		+	3.2	建設時のCO2排出量の把握と低減		0	0.200	0.000			
		+	3.3	テナント工事に伴うCO2排出量を低減させる貸方基準書等の整備		0	0.200	0.000			
		+	3.4	ウェルネスに関する環境認証の取得		1	0.080	0.080			

基本情報

区分	No.	評価項目 No.	適用範囲補正係数・評価項目	評価対象	数値	単位
適用範囲補正係数に関する評価対象	1	—	熱源、冷却塔、空調機、パッケージ、ファンコイル	建物全体の総冷熱源容量(地域冷暖房受入を含む。)	13,820	kW
	2	—	熱源	熱源機器総冷却能力(地域冷暖房受入を含む。)	13,537	kW
	3	—	蒸気ボイラー	建物全体の総温熱源容量(地域冷暖房受入を含む。)	6,338	kW
	4	—	冷却塔	水冷熱源機器総冷却能力	13,010	kW
	5	—	蒸気ボイラー	蒸気ボイラー総加熱能力		kW
	6	—	空調機	空調機総冷却能力	12,291	kW
	7	—	ファンコイル	ファンコイルユニット総冷却能力		
		II 3b.14	ファンコイルユニットの比例制御の導入		230	kW
	8	—	パッケージ	空気熱源パッケージ形空調機総冷却能力	283	kW
	9	—	冷却塔、パッケージ	水熱源パッケージ形空調機総冷却能力		kW
	10	—	駐車場	ファン(空調機内に設置されているものを除く。)総電動機出力	179.3	kW
		II 3b.3	高効率ファンの導入			
	11	—	駐車場	自走式駐車場ファン総電動機出力		
		II 3b.18	駐車場ファンのCO又はCO2濃度制御の導入		53.5	kW
	12	—	事務室・客室、事務室・教室、事務室、事務室・教室・研究室	主たる事務室の床面積	48,420	m ²
	13	—	事務室・客室	主たる客室の床面積		m ²
	14	—	事務室・教室、事務室・教室・研究室	主たる教室の床面積		m ²
15	—	事務室・教室・研究室	主たる研究室の床面積		m ²	
16	—	冷凍・冷蔵	冷凍・冷蔵設備の圧縮機総電動機出力			
	II 3f.3	高効率冷凍・冷蔵設備の導入		11.0	kW	
17	—	クリーンルーム	高効率クリーンルームの床面積		m ²	
熱源・熱搬送設備	18	II 3a.2	高効率冷却塔の導入	冷却塔ファン総電動機出力		
		II 3a.9	冷却塔ファン等の台数制御又は発停制御の導入		112.0	kW
		II 3a.19	冷却塔ファンインバータ制御の導入			
	19	II 3a.2	高効率冷却塔の導入	冷却塔散水ポンプ総電動機出力		kW
	20	II 3a.3	高効率空調用ポンプの導入	空調用ポンプ総電動機出力	848.5	kW
	21	II 3a.10	空調2次ポンプ変流量制御の導入	空調2次ポンプ総電動機出力		
		II 3a.11	空調2次ポンプの適正容量分割又は小容量ポンプの導入		343.5	kW
		II 3a.15	空調2次ポンプの末端差圧制御の導入			
		II 3a.25	空調2次ポンプの送水圧力設定制御の導入			
	22	II 3a.13	空調1次ポンプ変流量制御の導入	空調1次ポンプ総電動機出力	195.0	kW
	23	II 3a.14	冷却水ポンプ変流量制御の導入	冷却水ポンプ総電動機出力	310.0	kW
空調・換気設備	24	II 3b.1	高効率空調機の導入	空調機ファン総電動機出力	930.9	kW
	25	II 3b.2	高効率パッケージ形空調機の導入	パッケージ形空調機総冷却能力	283.0	kW
	26	II 3b.8	空調機の変風量システムの導入	空調機ファン総電動機出力(外調機、エレベーター機械室及び電気室を除く。)	621.3	kW
		II 3b.21	大温度差送風空調システムの導入			
		II 3b.31	空調機の間欠運転制御の導入			
	27	II 3b.4	ウォーミングアップ時の外気遮断制御の導入	空調用総外気導入量(24時間空調部分を除く。)	451,060	m ³ /h
	28	II 3b.10	空調機の気化式加湿器の導入	空調用総外気導入量(厨房用を除く。)		
		II 3b.13	CO2濃度による外気量制御の導入		364,960	m ³ /h
		II 3b.20	全熱交換器の導入			
		II 3b.26	デシカント空調システムの導入			
	29	II 3b.23	放射冷暖房空調システムの導入	主たる居室の床面積		
		II 3b.25	潜熱・顕熱分離方式省エネ空調システムの導入		52,170	m ²
		II 3b.27	ハイブリッド空調システムの導入			
30	II 3b.32	厨房外調機・ファンの風量モード切替制御の導入	厨房総外気導入量	86,100	m ³ /h	
	II 3b.33	厨房外調機の換気モード切替制御の導入				
31	II 3b.35	ファンの手動調整用インバータの導入	ファン総電動機出力	1,110.2	kW	
照明・電気設備	32	II 3c.3	照明の初期照度補正制御の導入	主たる事務室・教室の床面積		
		II 3c.8	照明の昼光利用照明制御の導入		48,420	m ²
	33	II 3c.5	高効率変圧器の導入	600Vを超え7,000V以下の総変圧器容量	11,700.0	kVA
給排水・給湯設備	34	II 3d.1	高効率給水ポンプの導入	加圧給水ポンプユニット総電動機出力	45.0	kW
	35	—	—	給水ポンプ総電動機出力	380.4	kW
昇降機設備	36	II 3e.1	エレベーターの可変電圧可変周波数制御方式の導入	エレベーター総電動機出力	1,302.0	kW
		II 3e.4	エレベーターの電力回生制御の導入			
	37	II 3e.2	エレベーターの群管理制御の導入	複数台設置してある箇所のエレベーター総電動機出力	1,208.0	kW
	38	II 3e.3	エレベーターかご内の照明、ファン等の不使用時停止制御の導入	全エレベーター台数	22.0	台
39	II 3e.5	エスカレーター自動運転方式又は微速運転方式の導入	エスカレーター総電動機出力	29.5	kW	
その他設備	40	II 3f.3	高効率冷凍・冷蔵設備の導入	冷凍設備の圧縮機総電動機出力	5.5	kW

適用範囲補正係数

熱源	No.2	13,537	kW /	No.1	13,820	kW =	0.98					
冷却塔	(No.4)	13,010	kW +	No.9		kW) /	0.941					
蒸気ボイラー	No.5		kW /	No.3	6,338	kW =	0					
空調機	No.6	12,291	kW /	No.1	13,820	kW =	0.889					
パッケージ	(No.8)	283	kW +	No.9		kW) /	0.02					
ファンコイル	No.7	230	kW /	No.1	13,820	kW =	0.017					
駐車場	No.11	53.5	kW /	No.10	179.3	kW =	0.298					
情報通信							0.044					
事務所							0.775					
厨房							0.054					
事務室・客室	(No.12)	48,420	m ² +	No.13		m ² /	0.484					
事務室・教室	(No.12)	48,420	m ² +	No.14		m ² /	0.484					
事務室	No.12	48,420	m ² /		100,000	m ² =	0.484					
事務室・教室・研究室	(No.12)	48,420	m ² +	No.14		m ² +	No.15		m ²) /	100,000	m ² =	0.484
冷凍・冷蔵	No.16	11.0	kW × 8.64 × 1700 /		138,000	GJ/年 =	0.001					
クリーンルーム	No.17		m ² × 4 /		100,000	m ² =	0					

地球温暖化対策推進に係る評価項目と取組状況(第一区分事業所)

I. 一般管理事項

※ 枠外の◎印は必須項目、○印は一般項目、+印は加点項目を示す。

1. CO2削減推進体制の整備

加点項目は採用又は実施している場合のみ記入する。

No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
◎ 1.1	CO2削減推進会議等の設置及び開催	CO2削減推進会議等が設置され、どの程度の頻度で実施されているか。 <small>統括管理者が出席するCO2削減推進会議 特定テナント連絡会議(特定テナントがある場合に限る。) テナント説明会(テナントがある場合に限る。)</small>	月1回以上 年2回以上 年2回以上	0.8 1 0.5
◎ 1.2	PDCA管理サイクルの実施体制の整備	PDCA管理サイクル(計画・実施・確認・処置)の実施体制がどの程度整備されているか。	全て整備	1
+ 1.3	環境認証の取得	環境ラベリング認証が取得されているか。	取得無し	0

2. 図面、管理標準等の整備

No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
◎ 2.1	図面・改修履歴等の整備	竣工図、機器完成図及び改修履歴がわかる書類が、どの程度整備されているか。	概ね80%以上は整備	1
◎ 2.2	設備台帳等の整備	エネルギー使用機器の管理のために、電子データ化された設備台帳等が、どの程度整備されているか。	概ね80%以上は整備	1
◎ 2.3	管理標準等の整備	管理標準及び運転操作マニュアルが整備されているか。	整備	1

3. 主要設備等に関する計測・計量及び記録

No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
◎ 3.1	ビルエネルギーマネジメントシステム(BEMS)等の導入	ビルエネルギーマネジメントシステム(BEMS)等が導入され、かつどの程度の機能(基本BEMS:データ採取、タイムプログラム等基本的制御・監視、管理日報・月報・年報、拡張機能:維持管理、応用的制御及びエネルギー消費分析・管理)を有しているか。	基本BEMS+拡張機能	1
◎ 3.2	電力負荷状況・発電状況等の把握に必要な計測・計量設備の導入	電力負荷状況・発電状況並びに各変圧器の需要率、負荷率及び不平等率の把握に必要な計測・計量設備が、一次側の電圧が400V以上の変圧器全数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	80%以上に採用	1
◎ 3.3	エネルギー消費先別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入	熱源・照明等エネルギー消費先別の電力量・燃料消費量・熱量の把握に必要な計測・計量設備による一次エネルギー実測値が、事業所全体のエネルギー消費量に対して、どの程度の割合になっているか。	70%以上	1
◎ 3.4	系統別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入	建物用途・棟・方位・高さ等により使用エリアを系統に分割し、その系統別の電力量・熱量を含む使用量の把握に必要な計測・計量設備が、電力量は動力盤及び分電盤総面数、熱量は全ポンプ系統数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	電力量 80%以上に採用 熱量(冷温水・蒸気) 80%以上に採用	1 1 1
○ 3.5	エネルギー供給設備の分析に必要な計測・計量設備の導入	熱源システム効率等、エネルギー供給設備の分析に必要な電力量・燃料消費量・熱量・流量・温度・補給水量等の把握に必要な計測・計量設備が、どの程度細かく導入されているか。	機器別	1
○ 3.6	代表階又は代表エリアの使用量把握に必要な計測・計量設備の導入	代表階又は代表エリアの電力量・熱量・温度の把握に必要な計測・計量設備が、基準階数又は対象エリア面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。	10%以上に採用	1
+ 3.7	空調の使用量に応じた課金体系の導入	主たる用途のテナント空調料金の課金方法に、熱量及び電力量など使用量に応じた課金体系が導入されているか。	実施無し	0

4. エネルギー消費量・CO2排出量の管理

No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
◎ 4.1	エネルギー消費特性の把握、エネルギー消費原単位の算出及び管理	BEMS等のデータを活用し、電力及び熱のピーク負荷の数値化等によるエネルギー消費の特性、建物全体のエネルギー消費原単位算出及び類似の建物との比較により、省エネルギー状況の管理が実施されているか。	実施	1
◎ 4.2	CO2排出量の管理	建物全体のCO2排出量及び原単位の管理がどの程度の頻度で実施されているか。	月1回以上	1
◎ 4.3	CO2削減目標の設定、CO2削減対策計画の立案及び実績の集約・評価の実施	2029年度までのCO2排出量削減に向けた目標を設定し、CO2削減対策項目ごとの具体的な計画の立案及び実績の集約・評価がどの程度実施されているか。	全て実施	1
◎ 4.4	CO2削減対策の啓発活動の実施	空調・照明等の使用時間短縮、事務用機器・パソコン等の省電力化、冷凍冷蔵庫・プリンタ等の効率運用などCO2削減対策に関する啓発活動が実施されているか。	実施	1
○ 4.5	エネルギー供給設備の運転解析の実施	エネルギー供給設備(熱源・熱搬送設備及びコージェネレーション設備)の運転に関して、BEMS等のデータの運転解析により、需要パターンに応じた機器の選択と稼働率の選定等、運用実態に即した運転計画と運転効率の検証が、どの程度の頻度で実施されているか。	年2回以上	1
◎ 4.6	改善策の立案・実施及び効果検証の実施	BEMS等のデータの活用により問題点を抽出し、優先的に改善すべき課題の決定、具体的な対策・計画及びチューニングなどの改善策の立案と実施、その効果の検証がどの程度実施されているか。	全て実施	1
○ 4.7	コミッションング(性能検証)の実施	新築、増築又は改修時の竣工後、1年以上に渡って、運用段階のコミッションング(性能検証)が実施されているか。	実施	1
○ 4.8	利用者等への環境・エネルギー情報提供システムの導入	インターネット等を介して、利用者がいつでも環境・エネルギー情報を見ることができ、状況を提供できる見える化のシステムが導入され、どの程度の頻度でデータが更新されているか。	月1回程度	0.5

5. 保守・点検の管理

No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
◎ 5.1	保守・点検計画の策定及び実施	燃焼設備及び動力設備の保守・点検計画の策定及び計画に基づいた保守・点検の実施がどの程度実施されているか。	計画の策定及び実施	1

II. 建物及び設備性能に関する事項		建築物環境計画書による評価																																																									
1. 自然エネルギーの利用																																																											
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度 評価点																																																								
○	1.1 自然採光を利用したシステムの導入	自然採光を利用したシステムが、主たる室用途の床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。	5%未満に採用 0.2																																																								
○	1.2 自然通風を利用したシステムの導入	自然通風を利用したシステムが、主たる室用途の床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。	50%以上に採用 1																																																								
+	1.4 未利用エネルギーシステムの導入	未利用エネルギーを利用するシステムがどの程度導入されているか。	電力換算で100kW以上採用 年間依存率 1.548%																																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>システム名称</th> <th>エネルギー利用形態</th> <th>発電容量又は熱利用容量</th> <th>年間発電量又は年間省エネルギー量実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こみ焼却排熱発電システム</td> <td>電力系統連系有り</td> <td>200 kW</td> <td>200 MWh/年</td> </tr> <tr> <td>変電所排熱利用システム</td> <td>電力以外</td> <td>100 MJ/h</td> <td>10 GJ/年</td> </tr> <tr> <td>地熱発電システム</td> <td>電力系統連系無し</td> <td>100 kW</td> <td>50 MWh/年</td> </tr> </tbody> </table>	システム名称	エネルギー利用形態	発電容量又は熱利用容量	年間発電量又は年間省エネルギー量実績	こみ焼却排熱発電システム	電力系統連系有り	200 kW	200 MWh/年	変電所排熱利用システム	電力以外	100 MJ/h	10 GJ/年	地熱発電システム	電力系統連系無し	100 kW	50 MWh/年	1																																								
システム名称	エネルギー利用形態	発電容量又は熱利用容量	年間発電量又は年間省エネルギー量実績																																																								
こみ焼却排熱発電システム	電力系統連系有り	200 kW	200 MWh/年																																																								
変電所排熱利用システム	電力以外	100 MJ/h	10 GJ/年																																																								
地熱発電システム	電力系統連系無し	100 kW	50 MWh/年																																																								
+	1.5 年間を通して安定した地中温度を利用したシステムの導入	クールトレンチ、ヒートトレンチその他の年間を通して安定した地中温度の利用のための措置が導入されているか。	採用無し 0																																																								
2. 建物外皮の省エネルギー性能																																																											
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度 評価点																																																								
○	2.1 高性能な建物外皮の導入	主たる建築物に高性能な建物外皮がどの程度導入されているか。	0.505																																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">PAL*の延床面積合計と事業所の延床面積の比率</th> <th>平均削減率</th> <th>削減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">0.80</td> <td>12%</td> <td>0.405</td> </tr> <tr> <th colspan="4">年間熱負荷係数 PAL*</th> </tr> <tr> <th>建物ごとの延床面積 [㎡]</th> <th>BPI_m</th> <th colspan="2">PAL*の値[MJ/㎡・年]</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>基準値</th> <th>設計値</th> </tr> <tr> <td>20,000.0</td> <td>0.90</td> <td></td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>10,000.0</td> <td>0.90</td> <td></td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>5,000.0</td> <td></td> <td>400</td> <td>300 25%</td> </tr> </tbody> </table>	PAL*の延床面積合計と事業所の延床面積の比率		平均削減率	削減率	0.80		12%	0.405	年間熱負荷係数 PAL*				建物ごとの延床面積 [㎡]	BPI _m	PAL*の値[MJ/㎡・年]				基準値	設計値	20,000.0	0.90		10%	10,000.0	0.90		10%	5,000.0		400	300 25%																									
PAL*の延床面積合計と事業所の延床面積の比率		平均削減率	削減率																																																								
0.80		12%	0.405																																																								
年間熱負荷係数 PAL*																																																											
建物ごとの延床面積 [㎡]	BPI _m	PAL*の値[MJ/㎡・年]																																																									
		基準値	設計値																																																								
20,000.0	0.90		10%																																																								
10,000.0	0.90		10%																																																								
5,000.0		400	300 25%																																																								
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年間熱負荷係数 PAL</th> <th>平均削減率</th> <th>削減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"></td> <td>28%</td> <td>0.904</td> </tr> <tr> <th>区分</th> <th>建築物の用途</th> <th>屋内周辺空間の床面積 [㎡]</th> <th>PALの値[MJ/㎡・年]</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <th>基準値 計算値</th> </tr> <tr> <td>用途1</td> <td>事務所等</td> <td>23,280.0</td> <td>300 217.0 28%</td> </tr> <tr> <td>用途2</td> <td>物販店舗等</td> <td>110.0</td> <td>380 282.0 26%</td> </tr> <tr> <td>用途3</td> <td>飲食店等</td> <td>310.0</td> <td>550 411.0 25%</td> </tr> <tr> <td>用途4</td> <td>集会所等</td> <td>480.0</td> <td>550 403.0 27%</td> </tr> <tr> <td>用途5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用途6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用途7</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用途8</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用途9</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用途10</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年間熱負荷係数 PAL		平均削減率	削減率			28%	0.904	区分	建築物の用途	屋内周辺空間の床面積 [㎡]	PALの値[MJ/㎡・年]				基準値 計算値	用途1	事務所等	23,280.0	300 217.0 28%	用途2	物販店舗等	110.0	380 282.0 26%	用途3	飲食店等	310.0	550 411.0 25%	用途4	集会所等	480.0	550 403.0 27%	用途5				用途6				用途7				用途8				用途9				用途10				
年間熱負荷係数 PAL		平均削減率	削減率																																																								
		28%	0.904																																																								
区分	建築物の用途	屋内周辺空間の床面積 [㎡]	PALの値[MJ/㎡・年]																																																								
			基準値 計算値																																																								
用途1	事務所等	23,280.0	300 217.0 28%																																																								
用途2	物販店舗等	110.0	380 282.0 26%																																																								
用途3	飲食店等	310.0	550 411.0 25%																																																								
用途4	集会所等	480.0	550 403.0 27%																																																								
用途5																																																											
用途6																																																											
用途7																																																											
用途8																																																											
用途9																																																											
用途10																																																											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年間熱負荷係数 PAL*又はPALが不明な場合 (2002年6月以前竣工の場合に限る。)</th> <th>削減率</th> <th>削減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">建築物の主たる用途</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">建築物の平面計画及び立面計画</td> <td>建築物の主方位</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>建築物の形状(アスペクト比)</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">※標準階を設定し、各項目の評価を行う</td> <td>コアの配置</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>建築物の平均階高</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主たる外壁及び屋根の断熱性能</td> <td>外壁の断熱性能</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>屋根の断熱性能</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主たる窓の断熱性能及び日射遮蔽性能</td> <td>窓面積率(窓面積÷外壁面積)</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ガラスの種類</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ブラインドの有無</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ひさし・外ブラインドの有無</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ペリメータシステムの種類</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年間熱負荷係数 PAL*又はPALが不明な場合 (2002年6月以前竣工の場合に限る。)		削減率	削減率	建築物の主たる用途			-	建築物の平面計画及び立面計画	建築物の主方位		-	建築物の形状(アスペクト比)		-	※標準階を設定し、各項目の評価を行う	コアの配置		-	建築物の平均階高		-	主たる外壁及び屋根の断熱性能	外壁の断熱性能		-	屋根の断熱性能		-	主たる窓の断熱性能及び日射遮蔽性能	窓面積率(窓面積÷外壁面積)		-	ガラスの種類			ブラインドの有無			ひさし・外ブラインドの有無				ペリメータシステムの種類													
年間熱負荷係数 PAL*又はPALが不明な場合 (2002年6月以前竣工の場合に限る。)		削減率	削減率																																																								
建築物の主たる用途			-																																																								
建築物の平面計画及び立面計画	建築物の主方位		-																																																								
	建築物の形状(アスペクト比)		-																																																								
※標準階を設定し、各項目の評価を行う	コアの配置		-																																																								
	建築物の平均階高		-																																																								
主たる外壁及び屋根の断熱性能	外壁の断熱性能		-																																																								
	屋根の断熱性能		-																																																								
主たる窓の断熱性能及び日射遮蔽性能	窓面積率(窓面積÷外壁面積)		-																																																								
	ガラスの種類																																																										
	ブラインドの有無																																																										
	ひさし・外ブラインドの有無																																																										
	ペリメータシステムの種類																																																										
○	2.2 風除室、回転扉等による隙間風対策の導入	外部、地下駐車場、地下道等の非空調空間と空調空間の境にある出入口の隙間風対策が、主たる動線の全出入口数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	0.95																																																								
		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>風除室</td> <td>40%以上80%未満に採用</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>回転扉</td> <td>採用無し</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>エアカーテン</td> <td>採用</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>エレベーター遮煙ドア又はEVホールの空間分節</td> <td>採用</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	風除室	40%以上80%未満に採用	0.5	回転扉	採用無し	0	エアカーテン	採用	1	エレベーター遮煙ドア又はEVホールの空間分節	採用	1																																													
風除室	40%以上80%未満に採用	0.5																																																									
回転扉	採用無し	0																																																									
エアカーテン	採用	1																																																									
エレベーター遮煙ドア又はEVホールの空間分節	採用	1																																																									
○	2.3 屋上緑化の導入	屋上緑化が導入されているか。	採用 1																																																								
+	2.4 ブラインドの日射制御及びスケジュール制御の導入	主たる居室のブラインドに日射制御又はスケジュール制御がどの程度導入されている	スケジュール制御あり 0.8																																																								
+	2.5 壁面緑化の導入	壁面緑化又は緑化によるひさしが導入されているか。	採用無し 0																																																								

3. 設備・制御系の省エネルギー性能		※ 採用したシステム及び制御手法は、運用上も活用している場合において評価する。									
a. 熱源・熱搬送設備											
No.	評価項目	評価内容						取組状況の程度	評価点		
◎	3a.1 高効率熱源機器の導入	高効率熱源機器が、全ての熱源機器(地域冷暖房受入を含む。)に対して、どの程度導入されているか。						冷熱源	0.957		
								温熱源	0.91		
		種別	設置年度	熱源機種	熱源容量 [kW]	定格エネルギー消費量	エネルギー種別	台数	年間熱製造量実績 [GJ/年]	定格COP	ボイラ効率
		1	冷熱源	2014	ターボ冷凍機	2,637	412.1	[kW]電気	1	6.40	0.922
		2	冷熱源	2014	直焚吸収冷温水機	2,461	6,570.0	[MJ/h]ガス	1	1.35	0.994
		3	冷熱源	2014	直焚吸収冷温水機	2,461	6,570.0	[MJ/h]ガス	1	1.35	0.994
		4	冷熱源	2014	直焚吸収冷温水機	2,461	6,570.0	[MJ/h]ガス	1	1.35	0.994
		5	冷熱源	2014	温水吸収冷凍機	351	1,805.0	[MJ/h]温水	1	0.70	1
		6	冷熱源	2014	ターボ冷凍機	2,637	412.1	[kW]電気	1	6.40	1
		7									
8											
9											
10											
1											
2	温熱源	2014	直焚吸収冷温水機	1,936	7,965.0	[MJ/h]ガス	1	0.88	0.91		
3	温熱源	2014	直焚吸収冷温水機	1,936	7,965.0	[MJ/h]ガス	1	0.88	0.91		
4	温熱源	2014	直焚吸収冷温水機	1,936	7,965.0	[MJ/h]ガス	1	0.88	0.91		
5											
6											
7											
8											
9											
10											
◎	3a.2 高効率冷却塔の導入	高効率冷却塔が、冷却塔ファン総電動機出力又は散水ポンプ総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。						0.854			
		省エネ形						100%に採用	1		
		モータ直結形ファン						採用無し	0		
		ファン永久磁石(IPM)モータ						採用無し	0		
		ファンプレミアム効率(IE3)モータ						20%に採用	0.196		
		ファン高効率(IE2)モータ						80%に採用	0.804		
		散水ポンプ永久磁石(IPM)モータ						散水ポンプ無し	-		
		散水ポンププレミアム効率(IE3)モータ						散水ポンプ無し	-		
		散水ポンプ高効率(IE2)モータ						散水ポンプ無し	-		
◎	3a.3 高効率空調用ポンプの導入	高効率空調用ポンプが、空調用ポンプ総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。						0.9			
		永久磁石(IPM)モータ						48%に採用	0.476		
		プレミアム効率(IE3)モータ						47%に採用	0.471		
		高効率(IE2)モータ						採用無し	0		
◎	3a.5 大温度差送水システムの導入	熱媒が水の場合、熱搬送設備の設計送水温度差がどの程度か。						Δt=10℃以上	1		
◎	3a.6 水搬送経路の密閉化	蓄熱槽の2次側で実揚程10m以上の水搬送経路が密閉化されているか、又は地域冷暖房の受入がプリードイン方式の場合、揚程500kPa以上のプースターポンプが設置されていないか。						密閉式回路のみ	1		
◎	3a.7 蒸気弁・フランジ部の断熱	蒸気弁及びフランジ部が、どの程度断熱されているか。						採用無し	0		
◎	3a.8 熱源の台数制御の導入	熱源の台数制御が導入されているか。						採用	1		
◎	3a.9 冷却塔ファン等の台数制御又は発停制御の導入	冷却塔ファン等の台数制御又は発停制御が、冷却塔ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。						95%以上に採用	1		
◎	3a.10 空調2次ポンプ変流量制御の導入	空調2次ポンプの台数制御及びインバータによる変流量制御が、空調2次ポンプ総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。						95%以上に採用	1		
○	3a.11 空調2次ポンプの適正容量分割又は小容量ポンプの導入	空調2次ポンプの適正容量分割又は小容量ポンプが、空調2次ポンプ総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。						95%以上に採用	1		
○	3a.12 熱源機器出口設定温度の遠方制御の導入	熱源機器出口設定温度の遠方制御が導入されているか。						採用	1		
○	3a.13 空調1次ポンプ変流量制御の導入	空調1次ポンプの台数制御又はインバータによる変流量制御が、空調1次ポンプ総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。						70%以上95%未満に採用	0.8		
○	3a.14 冷却水ポンプ変流量制御の導入	冷却水ポンプの台数制御又はインバータによる変流量制御が、冷却水ポンプ総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。						70%以上95%未満に採用	0.8		
○	3a.15 空調2次ポンプの末端差圧制御の導入	空調2次ポンプの末端差圧制御等が、空調2次ポンプ総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。						95%以上に採用	1		
○	3a.16 熱交換器の断熱	熱交換器の断熱が、熱交換器全台数に対して、どの程度の割合で導入されているか。						80%以上に採用	1		
+	3a.17 蓄熱システムの導入	蓄熱システムがどの程度導入されているか。						1			
		形式	蓄熱容量[m3]	蓄熱量[MJ]	年間蓄熱量[GJ/年]						
		冷水蓄熱槽(温度成層型)	2,000	71,200	7,231						
+	3a.18 高効率コージェネレーションの導入	高効率コージェネレーションが、全てのコージェネレーションに対して、どの程度導入されているか。						1			
		年間平均発電効率	33.6%	年間平均排熱利用率	22.2%	年間平均総合効率	102.9	OK			
コージェネ機種		発電容量 [kW]	定格エネルギー消費量	エネルギー種別	台数	定格発電効率	年間燃料消費量 [GJ/年]	年間発電量 [MWh/年]	年間排熱利用量 [GJ/年]		
ガスタービン		100	900.0	[MJ/h]ガス	1	44.4%	450	42	100		
	-	100	900	-	1	-	42	100			
+	3a.19 冷却塔ファンインバータ制御の導入	冷却塔ファンのインバータ制御が、冷却塔ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。						5%未満に採用又は採用無し	0		
+	3a.20 フリークーリングシステムの導入	有効に機能するフリークーリングシステムが導入されているか。						採用無し	0		
+	3a.22 配管摩擦低減剤(DR剤)の導入	配管摩擦低減剤(DR剤)が導入されているか。						採用無し	0		
+	3a.23 中温冷水利用システムの導入	中温冷水利用システムが、主たる熱源システムの一部に導入されているか。						採用無し	0		
+	3a.24 統合熱源制御システムの導入	熱源機器、冷却塔及びポンプ等をシステムとして最も高効率に制御する統合熱源制御システムが導入されているか。						採用無し	0		
+	3a.25 空調2次ポンプの送水圧力設定制御の導入	空調2次ポンプの送水圧力設定制御が、空調2次ポンプ総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。						95%以上に採用	1		
+	3a.26 エネルギーの面的利用の導入	複数の建物間で相互に熱を融通し、地区全体のエネルギー消費量を削減するエネルギーの面的利用が導入されているか。						採用無し	0		

b. 空調・換気設備						
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度 評価点			
◎	3b.1 高効率空調機の導入	高効率空調機が、空調機ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	ダブルブラダファン	18%に採用	0.177	
			ブラダファン	80%に採用	0.796	
			モータ直結形ファン	99%に採用	0.989	
			ECモータ・永久磁石(IPM)モータ	78%に採用	0.776	
			プレミアム効率(IE3)モータ	21%に採用	0.213	
			高効率(IE2)モータ	採用無し	0	
			積円管熱交換器	採用無し	0	
◎	3b.2 高効率パッケージ形空調機の導入	高効率パッケージ形空調機が、パッケージ形空調機総冷却能力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	高効率機器	通年エネルギー消費効率 APF	採用無し	0
			冷暖房平均COP	96%に採用	0.961	
			インバータ制御機器	採用無し	0	
			高効率冷媒(R410A)	採用無し	0	
			GHP+EHP一体型空調システム	採用無し	0	
			冷媒蒸発温度自動変更機能	採用無し	0	
			設置方法	冷媒配管の長さ(片道)	30m以上60m未満	0.8
屋外機のショートサーキット無し	100%に採用	1				
屋外機の散水システム	採用無し	0				
◎	3b.3 高効率ファンの導入	高効率ファンが、ファン(空調機内に設置されているものを除く。)総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	モータ直結形ファン	13%に採用	0.128	
			ECモータ・永久磁石(IPM)モータ	採用無し	0	
			プレミアム効率(IE3)モータ	91%に採用	0.914	
			高効率(IE2)モータ	採用無し	0	
◎	3b.4 ウォーミングアップ時の外気遮断制御の導入	ウォーミングアップ時の外気遮断制御の導入が、空調用総外気導入量(24時間空調部分を除く。)に対して、どの程度の割合で導入されているか。	95%以上に採用	1		
○	3b.5 エレベーター機械室の温度制御の導入	エレベーター機械室の温度制御が、全エレベーター機械室数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	80%以上に採用	1		
○	3b.6 電気室の温度制御の導入	電気室の温度制御が、全電気室数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	80%以上に採用	1		
○	3b.7 電算室の冷気と暖気が混合しない設備の導入	情報通信施設の電算室で、冷気と暖気が混合しないようなルーム設備又はラック設備が、全ラック台数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	5%未満(100㎡以上)に採用	0.2		
○	3b.8 空調機の変風量システムの導入	室内温度又は還気温度で空調機ファンのインバータを制御する変風量システムが、空調機ファン総電動機出力(外調機、エレベーター機械室及び電気室を除く。)に対して、どの程度の割合で導入されているか。	95%以上に採用	1		
○	3b.9 大空間の居住域空調又は局所空調システムの導入	大空間の居住域空調又は局所空調システムが、大空間の総床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。	50%以上に採用	1		
○	3b.10 空調機の気化式加湿器の導入	空調機の気化式加湿器が、空調用総外気導入量(厨房用を除く。)に対して、どの程度の割合で導入されているか。	70%以上95%未満に採用	0.8		
○	3b.11 空調温度制御の不感帯の設定	主たる居室に対する空調温度制御の不感帯(ゼロエナジーバンド制御等)が、設定値に対してどの程度に設定されているか。	±2℃以上	0.8		
○	3b.12 外気冷房システムの導入	外気冷房システムが、主たる居室の床面積(冬季及び中間期に冷房が無い室を除く。)に対して、どの程度の割合で導入されているか。	70%以上95%未満に採用	0.8		
○	3b.13 CO ₂ 濃度による外気量制御の導入	CO ₂ 濃度による外気量制御が、空調用総外気導入量(厨房用を除く。)に対して、どの程度の割合で導入されているか。	70%以上95%未満に採用	0.8		
○	3b.14 ファンコイルユニットの比例制御の導入	ファンコイルユニットの比例制御が、ファンコイルユニット総冷却能力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	95%以上に採用	1		
○	3b.15 空調のセキュリティー連動制御の導入	空調のセキュリティー連動制御が、主たる事務室、廊下、便所及び宿泊施設の客室の床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。	95%以上に採用	1		
○	3b.16 空調の最適起動制御の導入	空調の最適起動制御が、全空調機台数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	95%以上に採用	1		
○	3b.17 非使用室の空調発停制御の導入	VAV、CAV等による非使用室の空調発停制御が、空調時間帯が異なる複数の室が同一空調系統になっている部分の総床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。	対象空調系統無し	-		
○	3b.18 駐車場ファンのCO又はCO ₂ 濃度制御の導入	駐車場ファンのCO又はCO ₂ 濃度による発停制御、台数制御又はインバータ制御が、自走式駐車場ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	95%以上に採用	1		
○	3b.19 熱源機械室ファンの燃焼機器等連動停止制御の導入	熱源機械室等の燃焼空気が必要な室の全てに、ファンの燃焼機器等連動停止制御が導入されているか。	採用	1		
+	3b.20 全熱交換器の導入	全熱交換器が、空調用総外気導入量(厨房用を除く。)に対して、どの程度の割合で導入されているか。	70%以上95%未満に採用	0.8		
+	3b.21 大温度差送風空調システムの導入	低温送風による大温度差送風空調システムが、空調機ファン総電動機出力(外調機、エレベーター機械室及び電気室を除く。)に対して、どの程度の割合で導入されているか。	70%以上95%未満に採用	0.8		
+	3b.22 床吹出空調システムの導入	床吹出空調システムが、主たる事務室の床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。	5%未満に採用又は採用無し	0		
+	3b.23 放射冷暖房空調システムの導入	放射冷暖房空調システムが、主たる居室の床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。	5%未満に採用又は採用無し	0		
+	3b.24 冷却除湿再熱方式以外の除湿システムの導入	一般的に除湿システムが導入されている美術館及び博物館の展示室、100㎡以上の宴会場、劇場の客席等の居室に、冷却除湿再熱方式以外の除湿システムが導入されているか。	採用無し	0		
+	3b.25 潜熱・顕熱分離方式省エネ空調システムの導入	潜熱・顕熱分離方式省エネ空調システムが、主たる居室の床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。	5%未満に採用又は採用無し	0		
+	3b.26 デシカント空調システムの導入	デシカント空調システムが、空調用総外気導入量(厨房用を除く。)に対して、どの程度の割合で導入されているか。	5%未満に採用又は採用無し	0		
+	3b.27 ハイブリッド空調システムの導入	ハイブリッド空調システム(自然換気と空調機器による併用)が、主たる居室の床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。	5%未満に採用又は採用無し	0		
+	3b.28 置換換気システムの導入	置換換気システムが導入されているか。	採用無し	0		
+	3b.29 電算室の局所冷房設備の導入	情報通信施設の電算室で、高発熱領域に対する局所冷房設備が、全ラック台数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	5%未満に採用又は採用無し	0		
+	3b.30 高効率厨房換気システムの導入	高効率厨房換気システム(置換換気、給排気フード又は厨房排気の変風量制御)が、全厨房箇所に対して、どの程度の割合で導入されているか。	20%未満に採用又は採用無し	0		
+	3b.31 空調機の間欠運転制御の導入	空調機の間欠運転制御が、空調機ファン総電動機出力(外調機、エレベーター機械室及び電気室を除く。)に対して、どの程度の割合で導入されているか。	5%以上30%未満に採用	0.2		
+	3b.32 厨房外調機・ファンの風量モード切替制御の導入	厨房外調機・ファンの風量モード切替制御が、厨房総外気導入量に対して、どの程度の割合で導入されているか。	70%以上に採用	1		
+	3b.33 厨房外調機の換気モード切替制御の導入	厨房外調機の換気モード切替制御が、厨房総外気導入量に対して、どの程度の割合で導入されているか。	70%以上に採用	1		
+	3b.34 人感センサーによる換気制御の導入	人感センサーによる換気制御が、主たる便所及び湯沸室に対して、どの程度導入されているか。	採用無し	0		
+	3b.35 ファンの手動調整用インバータの導入	ファンの手動調整用インバータが、ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	5%以上30%未満に採用	0.2		
+	3b.36 気流感創出ファン・サーキュレーションファンの導入	主たる事務室に気流感創出ファン等、又は大空間にサーキュレーションファンが導入されているか。	採用無し	0		
+	3b.37 厨房排気の熱回収システムの導入	厨房排気から熱回収を行い、厨房用外調機の予熱に利用するシステムが導入されているか。	採用無し	0		

c. 照明・電気設備		評価内容				取組状況の程度	評価点
No.	評価項目	評価内容				簡易入力	
◎	3c.1 高効率照明器具の導入	高効率照明器具が、主たる室の全ての照明器具に対して、どの程度導入されているか。					0.531
		用途	主たる室用途	床面積 [m ²]	主たる室用途の床面積比率	主たるランプ種類	消費電力 [W/m ²]
		共通	エントランスホール	2,700	2.7%	ハロゲン電球	9.5
			廊下	9,300	9.3%	LED	4.0
			便所	4,500	4.5%	LED	8.5
			倉庫				
			駐車場	8,000	8.0%	LED	3.0
			事務室	48,420	48.4%	LED	10.0
			会議室				
			電算室	600	0.6%	LED	10.0
		商業施設	物販店舗	500	0.5%	LED	20.0
			飲食店舗客席	1,050	1.1%	LED	15.0
			飲食店舗厨房	450	0.5%	LED	10.0
			店舗通路	800	0.8%	LED	10.0
		宿泊施設	ホテルロビー				
			客室				
			客室廊下				
			宴会場				
		教育施設	教室				
			大教室				
			研究室				
			体育館				
		医療施設	病室	300	0.3%	LED	10.0
			診察室	100	0.1%	LED	10.0
		文化施設	会議場	1,200	1.2%	LED	15.0
			ロビー・ホワイエ	400	0.4%	LED	18.0
			楽屋	200	0.2%	LED	15.0
		物流施設	物流倉庫				
		その他	屋内競技場				
			屋外競技場				
			屋外	—	2.0%	把握できていない	—
◎	3c.2 高輝度型誘導灯・蓄光型誘導灯の導入	高輝度型誘導灯又は蓄光型誘導灯が、誘導灯総器具数に対して、どの程度の割合で導入されているか。				80%以上に採用	1
◎	3c.3 照明の初期照度補正制御の導入	照明の初期照度補正制御が、主たる事務室・教室の床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。				95%以上に採用	1
◎	3c.4 照明のゾーニング制御の導入	照明の点滅区分の細分化と、主たる廊下、エントランスホール、駐車場等の間引きによるゾーニング制御がどの程度導入されているか。				廊下及び駐車場の間引き	1
◎	3c.5 高効率変圧器の導入	高効率変圧器が、600Vを超え7,000V以下の総変圧器容量に対して、どの程度の割合で導入されているか。					0.9
			超高効率変圧器			採用無し	0
			トップランナー変圧器2014			100%に採用	1
			トップランナー変圧器			採用無し	0
○	3c.7 高効率UPSの導入	情報通信施設のUPSで、変換効率90%以上の高効率UPSが、UPS総容量に対して、どの程度の割合で導入されているか。				80%以上に採用	1
○	3c.8 照明の昼光利用照明制御の導入	照明の昼光利用照明制御が、主たる事務室・教室の床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。				95%以上に採用	1
○	3c.9 照明の人感センサーによる入室検知制御の導入	照明の人感センサーによる入室・在席検知制御が、主たる廊下、階段室、便所又は湯沸室の床面積に対して、どの程度導入されているか。					1
			主たる廊下			40%未満に採用又は採用無し	0
			主たる階段室			80%以上に採用	1
			主たる便所			80%以上に採用	1
			主たる湯沸室			80%以上に採用	1
○	3c.10 照明のタイムスケジュール制御の導入	照明のタイムスケジュール制御が、主たる居室、廊下等の共用部に対して、どの程度導入されているか。				居室及び共用部に採用	1
○	3c.11 照明のセキュリティー連動制御の導入	照明のセキュリティー連動制御が、主たる事務室、廊下、便所及び宿泊施設の客室の床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。				95%以上に採用	1
○	3c.12 デマンド制御システムの導入	デマンド制御システムが導入されているか。				採用	1
+	3c.13 タスク&アンビエント照明システムの導入	タスク&アンビエント照明システムが、主たる事務室の床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。				採用無し	0
+	3c.14 高効率給電設備の導入	200V仕様のある動力設備又は主たる情報通信機器に対して、400V配電方式又は直流配電方式が導入されているか。				採用	1
+	3c.15 照明の明るさ感知による自動点滅制御の導入	照明の明るさ感知による自動点滅制御が、窓のある主たるエントランスホール、廊下、便所等に導入されているか。				採用	1
+	3c.16 照明の局所制御の導入	照明器具ごとのスイッチ等による照明の局所制御が、主たる事務室、廊下、便所又は湯沸室に対して、どの程度導入されているか。				採用無し	0
+	3c.17 誘導灯の消灯制御の導入	誘導灯の消灯制御が導入されているか。				採用無し	0
+	3c.18 事務室のセンサーによる照明制御単位の細分化	主たる事務室のセンサーによる照明制御単位の細分化が、主たる事務室に導入されているか。				採用無し	0

d. 給排水・給湯設備						
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点		
◎	3d.1 高効率給水ポンプの導入	高効率給水ポンプが、加圧給水ポンプユニット総電動機出力又は給水ポンプ総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	推定末端圧一定インバータ制御ポンプユニット	100%に採用	1	
			永久磁石(IPM)モータ	採用無し	0	
			プレミアム効率(IE3)モータ	98%に採用	0.981	
			高効率(IE2)モータ	採用無し	0	
○	3d.2 大便器の節水器具の導入	大便器の節水器具(10ℓ/回以下)又は超節水器具(6ℓ/回以下)が、主たる便所の大便器数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	80%以上に超節水器具を採用	1		
○	3d.4 洗面器の自動水栓の導入	洗面器の自動水栓が、主たる便所の洗面器数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	80%以上に採用	1		
○	3d.6 便所洗面・湯沸室への局所給湯システムの導入	主たる便所の洗面器及び湯沸室の雑湯用に、局所給湯システムが導入されているか。	採用	1		
+	3d.7 排水再利用システム等の導入	雨水利用システム、空調ドレン利用システム、中水利用システム等の排水再利用システム、又は再生水、工業用水、湧水等の雑水利用システムが導入されているか。	採用	1		
+	3d.8 高効率給湯ヒートポンプユニットの導入	定格COP3.0以上の高効率給湯ヒートポンプユニット(中央給湯方式の熱源機器に限る。)が、中央給湯方式の総給湯加熱能力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	20%未満に採用又は採用無し	0		
+	3d.9 自然冷媒ヒートポンプ給湯器の導入	自然冷媒ヒートポンプ給湯器が、貯湯容量300ℓ以上の電気給湯器全数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	20%未満に採用又は採用無し	0		
+	3d.10 潜熱回収給湯器の導入	潜熱回収給湯器が、ガス給湯器全数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	20%未満に採用又は採用無し	0		
+	3d.11 水道本管圧力利用システムの導入	給水方式に水道本管圧力利用システムが導入されているか。	採用無し	0		
e. 昇降機設備						
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点		
◎	3e.1 エレベーターの可変電圧可変周波数制御方式の導入	エレベーターの可変電圧可変周波数制御方式(VVVF制御方式)が、エレベーター総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	95%以上に採用	1		
◎	3e.2 エレベーターの群管理制御の導入	エレベーターの群管理制御が、複数台設置してある箇所のエレベーター総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	95%以上に採用	1		
○	3e.3 エレベーターかご内の照明、ファン等の不使用時停止制御の導入	エレベーターかご内の照明、ファン等の不使用時停止制御が、全エレベーター台数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	95%以上に採用	1		
+	3e.4 エレベーターの電力回生制御の導入	エレベーターの電力回生制御が、エレベーター総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	95%以上に採用	1		
+	3e.5 エスカレーターの自動運転方式又は微速運転方式の導入	エスカレーターの自動運転方式又は微速運転方式が、エスカレーター総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	95%以上に採用	1		
f. その他						
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点		
+	3f.3 高効率冷凍・冷蔵設備の導入	高効率冷凍・冷蔵設備が、冷凍・冷蔵設備の圧縮機総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	冷凍庫壁面の高断熱化	100%に採用	1	
			前室の導入	100%に採用	1	
			搬入口近接センサーによる扉の自動開閉化	採用無し	0	
			着霜制御(デフロスト)	100%に採用	1	
			圧縮機入口ガス管の断熱化	100%に採用	1	
			冷却器用ファンの台数制御	採用無し	0	
			圧縮機インバータ制御	100%に採用	1	
+	3f.4 高効率エアコンプレッサーの導入	高効率エアコンプレッサーが導入されているか。	インバータ制御	採用無し	0	
			永久磁石(IPM)モータ	採用無し	0	
			プレミアム効率(IE3)モータ	採用無し	0	
			高効率(IE2)モータ	採用無し	0	
			2段圧縮方式	採用無し	0	
			インバータ制御冷却ファン	採用無し	0	
			増風量制御方式	採用無し	0	
			圧縮機・モータ直結構造	採用無し	0	
			複数台圧縮機制御	採用無し	0	
+	3f.5 高効率ブロワ・その他設備に係る高効率ポンプの導入	高効率ブロワ又はその他設備に係る高効率ポンプが導入されているか。	永久磁石(IPM)モータ	採用無し	0	
			プレミアム効率(IE3)モータ	採用無し	0	
			高効率(IE2)モータ	採用無し	0	
+	3f.6 高効率クリーンルームの導入	高効率クリーンルームが導入されているか。 高効率クリーンルームの床面積 <input type="text" value=""/> m ²	装置冷却水の排熱利用	採用無し	0	
			送風機台数制御	採用無し	0	
			送風機インバータ制御	採用無し	0	
			省エネ型FFU	採用無し	0	
			ローカルリターン方式	採用無し	0	
+	3f.7 高効率厨房機器の導入	厨房換気量を低減するために、電化厨房又は集中排気型ガス厨房が、床面積100m ² 以上の厨房に導入されているか。	採用無し	0		
+	3f.8 ブロワ・その他設備に係るポンプのインバータ制御の導入	ブロワ又はその他設備に係るポンプにインバータ制御が導入されているか。	採用無し	0		
+	3f.9 ドラフトチャンバーの換気量可変制御システムの導入	ドラフトチャンバーのフード開口面積又は人検知センサーによる換気量可変制御システムが、全ドラフトチャンパー台数に対して、どの程度の割合で導入されているか。	20%未満に採用又は採用無し	0		

III. 事業所及び設備の運用に関する事項				
1. 運用管理				
a. 熱源・熱搬送設備				
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
◎	1a.1 燃焼機器の空気比の管理	ボイラー、直焚吸収冷水機等の全ての燃焼機器の空気比が、どの程度に管理されているか。	目標空気比	1
◎	1a.2 蒸気ボイラーの設定圧力の適正化	全ての蒸気ボイラーの設定圧力が二次側機器の必要圧力に対して適正に調整されているか。	蒸気ボイラー無し	-
◎	1a.3 冷凍機の冷却水温度設定値の調整	全ての冷凍機の冷却水温度設定値が、冷凍機の冷却水下限温度を目標に調整されているか。	実施	1
+	1a.4 熱のエネルギー効率の実績	熱のエネルギー効率の実績はどの程度か。 熱のエネルギー効率	0.80以上0.85未満 0.8	0.5
○	1a.5 部分負荷時の熱源運転の適正化	部分負荷時の熱負荷に応じた熱源機器運転の適正化が、熱源群全系統数に対して、どの程度の割合で実施されているか。	80%以上で実施	1
○	1a.6 部分負荷時の空調用ポンプ運転の適正化	部分負荷時の熱負荷に応じた空調用ポンプ運転の適正化が、空調2次ポンプ群及び冷却水ポンプ群全系統数に対して、どの程度の割合で実施されているか。	80%以上で実施	1
○	1a.7 蒸気ボイラーの給水水質・フロー量の管理	全ての蒸気ボイラーの給水水質及びフロー量が、フロー率10%以下に管理されている	蒸気ボイラー無し	-
○	1a.8 熱源機器の冷温水出口温度設定値の調整	熱源機器の効率向上のために、冷温水出口温度設定値が調整されているか。	実施	1
○	1a.9 蓄熱槽の管理	蓄熱槽の温度分布、蓄放熱時の温度プロフィール等が適正に管理されているか。	実施	1
○	1a.10 コージェネレーションの運転の適正化	コージェネレーションの排熱が有効に利用できるように、発電及び排熱利用の状況が適正に管理されているか。	コージェネレーション無し	-
○	1a.12 ミキシングロス防止のためのバルブ開度の確認	ミキシングロス防止のために、冷温水切替用のバルブ閉止が確認されているか。	実施	1
○	1a.13 インバータ制御系統のバルブの開度調整	インバータ制御系統の空調用ポンプ回りの全てのバルブが全開になるように調整されているか。	実施	1
○	1a.14 熱源不要期間の熱源機器等停止	熱源機器及び空調用ポンプで、熱源不要期間の電源供給停止、又は夜間の運転停止が実施されているか。	対象機器無し	-
○	1a.15 空調開始時の熱源起動時間の適正化	熱源機器及び空調2次ポンプの起動時間が、空調開始時間に合わせて季節ごとに適正に管理されているか。	対象機器無し	-
○	1a.16 空調停止時の熱源運転時間の短縮	熱源機器が空調停止時間前に停止されているか。	対象機器無し	-
○	1a.17 空調2次ポンプ変流量制御のインバータ周波数下限値の調整	空調2次ポンプ変流量制御のインバータ周波数下限値が、どの程度の周波数に調整されているか。	15Hz超20Hz以下	0.5
○	1a.18 再生可能エネルギー等熱利用システムのバックアップ運転の適正化	再生可能エネルギー等熱利用システムのバックアップ運転の適正化が実施されているか。	実施無し	0
b. 空調・換気設備				
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点
◎	1b.1 室使用開始時の空調起動時間の適正化	室の使用開始時間に合わせた季節ごとの空調起動時間の適正化が、主たる居室の床面積に対して、どの程度の割合で実施されているか。	95%以上で実施	1
◎	1b.2 CO2濃度・外気温湿度による外気取入量の調整	外気負荷低減、外気冷房等のために、室内CO2濃度及び外気温湿度による外気取入量の調整が、主たる居室の床面積に対して、どの程度の割合で実施されているか。	95%以上で実施	1
◎	1b.3 居室の室内温度の適正化	居室の実際の室内温度の適正化(夏季26℃以上)が、主たる居室の床面積に対して、どの程度の割合で実施されているか。	70%以上で実施	1
◎	1b.4 ファンの間欠運転の実施	スケジュール又は自動制御によるファンの間欠運転が、機械室(燃焼系統、臭気系統を除く。)及び倉庫のファンに対して、どの程度実施されているか。	3時間以下	1
○	1b.5 電算室の空調機運転の適正化	情報通信施設の電算室で、発熱量に合わせた空調機運転の適正化が、全電算室数に対して、どの程度の割合で実施されているか。	80%以上で実施	1
○	1b.6 空調運転時間の短縮	空調運転時間の短縮が、主たるエントランスホール、廊下、便所、体育館・武道場等又は主たる室用途の床面積に対して、どの程度実施されているか、又は主たる事務室の年間空調運転時間が、どの程度で運用されているか。		0.56
		主たるエントランスホール	中間期・夜間・休日停止	0.8
		主たる廊下	中間期・夜間・休日停止	0.8
		主たる便所	中間期・夜間・休日停止	0.8
		体育館・武道場等	体育館・武道場等無し	-
		主たる室用途	20%未満で実施又は実施無し	0
		主たる事務室	把握できていない	0
○	1b.7 冬季におけるベリメータ設定温度の適正化	冬季のベリメータ設定温度をインテリアより低くする運用が、主たる事務室の床面積に対して、どの程度の割合で実施されているか。	50%以上で実施	1
○	1b.8 クールピズ・ウォームピズによる空調設定温度の緩和	クールピズ(夏季27℃以上)及びウォームピズ(冬季20℃以下)による空調設定温度の緩和が、主たる事務室、教室及び研究室の床面積に対して、どの程度の割合で実施されているか。	5%以上30%未満で実施	0.5
○	1b.9 居室以外の室内温度の緩和	主たるエントランスホール、廊下等の居室以外の室内温度が、居室に対して、夏季は高め、冬季は低め、又は夏季27℃以上、冬季20℃以下に設定されているか。	エントランスホール及び廊下で実施	1
○	1b.10 冷却除湿再熱の停止	冷却除湿再熱システムが導入されている室で、再熱の停止が実施されているか。	冷却除湿再熱無し	-
○	1b.11 建物全体の給排気バランスの管理	過大な隙間風の侵入が無いように、建物全体の給排気バランスが調整されているか。	実施	1
○	1b.12 エレベーター機械室・電気室の室内設定温度の適正化	エレベーター機械室及び電気室(UPS・蓄電池専用室を除く。)の室内設定温度の適正化が、全エレベーター機械室数及び全電気室数に対して、どの程度の割合で実施されているか。	80%以上で実施	1
○	1b.13 エレベーター機械室・電気室のファンの夏季停止	エレベーター機械室及び電気室のファンの夏季停止が、空調機併用システムの全エレベーター機械室数及び全電気室数に対して、どの程度の割合で実施されているか。	80%以上で実施	1
○	1b.14 エレベーター機械室・電気室の空調機の給気・還気設定温度の適正化	エレベーター機械室及び電気室の空調機又はパッケージ形空調機の給気設定温度又は還気設定温度の適正化が、室内温度とは別に給気温度又は還気温度の設定が可能な全エレベーター機械室数及び全電気室数に対して、どの程度の割合で実施されているか。	80%以上で実施	1
+	1b.15 冬季冷房になる室の設定温度の適正化	ミキシングロスの発生を抑えるために、冬季に暖房から冷房に切り換わる室は、起動時の室内温度が低めに設定されているか。	実施	1
+	1b.16 ファンのブリーダウの実施	ダンパが絞られている系統のファンのブリーダウが実施されているか。	実施無し	0
+	1b.17 地下駐車場のスロープ等からの自然給気	地下駐車場のスロープ等からの自然給気により、駐車場給気ファンが停止されているか。	実施	1
+	1b.18 パッケージ形空調機の省エネチューニングの実施	パッケージ形空調機の冷媒蒸発温度設定値の調整が実施されているか。	実施無し	0
+	1b.19 変風量システムの最小風量設定値の調整	変風量システムの変風量装置VAVの最小風量設定値が、設計風量に対して、どの程度の割合に調整されているか。	30%超40%以下	0.2
+	1b.20 変風量システムのインバータ周波数下限値の調整	変風量システムの空調機ファンのインバータ周波数下限値が、どの程度の周波数に調整されているか。	10Hz以下	1
+	1b.21 厨房外調機の換気モード切替制御による換気モード運転の適正化	厨房外調機の換気モード切替制御による換気モードの運転が、どの程度実施されているか。	4か月以上	1

c. 照明・電気設備							
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点			
◎	1c.1 居室以外の照度条件の緩和	間引き点灯又は調光等による照度条件の緩和が、主たる廊下、エントランスホール及び駐車場の床面積に対して、どの程度実施されているか。	昼間時間帯	駐車場のみで実施	0.5	0.85	
			夜間時間帯	廊下及び駐車場でも実施	1		
○	1c.2 清掃等の日常メンテナンス作業時の照明点灯時間・照度条件の適正化	清掃や日常メンテナンス等の作業時に照明点灯時間延長の抑制又は照度条件の緩和が、主たる室用途の床面積に対して、どの程度の割合で実施されているか。	40%以上80%未満で実施	0.5			
○	1c.3 不要期間・不要時間帯の変圧器の遮断	負荷がない時期、夜間等に、変圧器の遮断が実施されているか。	不要変圧器無し	-			
○	1c.4 事務室の室内照度の適正化	事務室の室内照度の適正化(概ね500lx以下)が、主たる事務室の床面積に対して、どの程度の割合で実施されているか。	50%以上70%未満で実施	0.8			
+	1c.5 事務室の照度条件の緩和	事務室の照明の間引き点灯又は調光等による照度条件の緩和(概ね300lx以下)が、主たる事務室の床面積に対して、どの程度の割合で実施されているか。	5%未満で実施又は実施無し	0			
+	1c.6 時間外等の照明点灯エリアの集約化	時間外等の照明点灯エリアを集約する工夫が行われているか。	実施無し	0			
+	1c.7 人感センサーのタイマー設定時間の適正化	人感センサーのタイマー設定時間の適正化が、主たる便所に対して、どの程度実施されているか。	5分以内	0.8			
d. 給排水・給湯設備							
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点			
◎	1d.1 給水圧力の管理	バルブ全開時の末端圧力が過剰にならないように、給水ポンプユニットの設定圧力が調整されているか。	実施	1			
◎	1d.2 貯湯温度設定の緩和	衛生上可能な範囲で、貯湯温度設定の緩和が実施されているか。	貯湯槽無し	-			
◎	1d.3 揚水ポンプのバルブの開度調整	揚水ポンプ系統のバルブが極力抵抗とならないように調整されているか。	実施	1			
○	1d.4 洗浄便座暖房の夏季停止	洗浄便座暖房の夏季停止が実施されているか。	実施	1			
○	1d.5 給水・給湯バルブの調整	節水のために給水・給湯の分岐バルブが使用上支障のない範囲で絞られているか。	実施	1			
○	1d.6 給湯温度設定の緩和	季節や用途等に応じた給湯温度設定の緩和が実施されているか。	実施	1			
○	1d.7 貯湯式電気温水器の夜間・休日の電源停止	貯湯式電気温水器の夜間及び休日の電源停止が実施されているか。	実施	1			
○	1d.8 便所洗面給湯の給湯中止又は給湯期間の短縮	便所洗面給湯の給湯中止又は給湯期間の短縮が実施されているか。	夏季の給湯中止	0.8			
○	1d.9 給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止	給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止が実施されているか。	対象機器無し	-			
e. 昇降機設備							
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点			
○	1e.1 夜間・休日等のエレベーターの運転台数の削減	夜間・休日等のエレベーターの運転台数の削減が実施されているか。	実施	1			
○	1e.2 エレベーターかご内の空調設定温度の緩和	夏季のエレベーターかご内の空調設定温度が居室より高く設定されているか。	実施	0.8			
f. その他							
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点			
○	1f.1 外部に面する出入口の開閉の管理	冷房時・暖房時の開鎖など外部に面する出入口の開閉の適正な管理が、主たる動線の全出入口数に対して、どの程度の割合で実施されているか。	80%以上で実施	1			
○	1f.2 非稼働エリアのエア供給弁の閉止	非稼働エリアのエア供給弁が閉止されているか。	エアコンプレッサー無し	-			
○	1f.3 非使用時間帯のエアコンプレッサーの停止	非使用時間帯のエアコンプレッサーの停止が実施されているか。	エアコンプレッサー無し	-			
○	1f.4 エアコンプレッサーの設定圧力の適正化	エアコンプレッサーの設定圧力がエア使用端の必要圧力+0.1MPa以下に調整されているか。	エアコンプレッサー無し	-			
○	1f.5 エアコンプレッサー吸入空気温度の管理	十分な換気の確保等、エアコンプレッサーの吸入空気温度が高ならないように管理されているか。	エアコンプレッサー無し	-			
○	1f.6 冷凍・冷蔵設備冷却器の除霜(デフロスト)の実施	冷凍・冷蔵設備冷却器の除霜(デフロスト)(着霜制御がある場合も除霜実施と見なす。)が実施されているか。	冷凍・冷蔵設備無し	-			
○	1f.7 情報通信施設のPUEの実績	主たる用途が情報通信施設の場合、PUE(Power Usage Effectiveness)の実績がどの程度か。		-			
		事業形態	IT機器の電気使用量 [kWh]	付帯設備の電気使用量 [kWh]	最大受電容量 [kW]	稼働率 [%]	PUE
		ハウジング	ホスティング	クラウド			
+	1f.8 情報通信施設のPUEの改善	主たる用途が情報通信施設の場合、PUEの実績が1.3以下であるか。	1.3超	0			
2. 保守管理							
a. 熱源・熱搬送設備							
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点			
◎	2a.1 熱源機器の点検・清掃	冷凍機のコンデンサ及びエバポレータの清掃、燃焼機器の伝熱面の清掃及びスケール除去、バーナーノズルの点検等の熱源機器の点検・清掃が適切な頻度で実施されているか。	実施	1			
◎	2a.2 冷却水の適正な水質管理及び冷却塔の充填材の清掃	冷却水の適正な水質管理及び冷却塔の充填材の清掃が適切な頻度で実施されているか。	実施	1			
○	2a.3 熱源用制御機器の点検及び制御バルブ等の作動チェック	熱源用制御機器の点検及び制御バルブ等の作動チェックが適切な頻度で実施されているか。	実施	1			
○	2a.4 熱交換器の清掃	熱交換器の清掃が適切な頻度で実施されているか。	実施	1			
○	2a.5 蒸気配管・バルブ・スチームトラップからの漏れ点検	蒸気配管、バルブ等からの漏れ点検及びスチームトラップの点検が適切な頻度で実施されているか。	蒸気配管無し	-			
+	2a.6 熱源機器のメーカーによる遠隔監視	予知予防保全のために熱源機器のメーカーによる遠隔監視が実施されているか。	実施無し	0			
b. 空調・換気設備							
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点			
◎	2b.1 空調機・ファンコイルユニット等のフィルターの清浄	空調機、ファンコイルユニット等のフィルターの清浄が適切な頻度で実施されているか。	実施	1			
○	2b.2 センサー類の精度チェック及び制御ダンパ等の作動チェック	センサー類の精度チェック及び制御ダンパ等の作動チェックが適切な頻度で実施されているか。	実施	1			
○	2b.3 空調機・ファンコイルユニット等のコイルフィンの清浄	空調機、ファンコイルユニット等のコイルフィンの清浄が適切な頻度で実施されているか。	実施	1			
○	2b.4 パッケージ屋外機のフィンコイル洗浄	パッケージ屋外機のフィンコイル洗浄が適切な頻度で実施されているか。	実施	1			
○	2b.5 省エネファンベルトへの交換	省エネファンベルトへの交換が、ベルト駆動ファンの全台数に対して、どの程度の割合で実施されているか。	50%以上で実施	1			
+	2b.6 パッケージ形空調機のメーカーによる遠隔監視	予知予防保全のために、パッケージ形空調機のメーカー等による遠隔監視が実施されているか。	実施無し	0			
c. 照明・電気設備							
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点			
○	2c.1 照明用制御設備の作動チェック	照明用制御設備の作動チェックが適切な頻度で実施されているか。	実施	1			
○	2c.2 照明器具の清掃及び定期的なランプ交換	照明器具の清掃及び定期的なランプ交換が汚れの状態や用途に応じて定期的実施されているか。	実施無し	0			
○	2c.3 ランプ交換時の初期照度補正リセットの実施	タイマー式の初期照度補正制御付きの照明器具のランプ交換時に、リセット操作が実施されているか。	対象設備無し	-			
f. その他							
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点			
○	2f.1 冷凍・冷蔵庫の保温管理	冷凍・冷蔵庫の保温状況の点検及び保守が実施されているか。	冷凍・冷蔵庫無し	-			
○	2f.2 エア配管・バルブからの漏れ点検及びエアコンプレッサー吸込みフィルターの清掃	エア配管及びバルブからの漏れ点検及びエアコンプレッサーの吸込みフィルターの清掃が適切に実施されているか。	エアコンプレッサー無し	-			

IV. 事業所の再生可能エネルギーの利用に関する事項					
1. オンサイトの再生可能エネルギーの利用					
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点	
○	1.1 太陽光発電システムの導入	太陽光発電システムがどの程度導入されているか。	発電容量 100 kW 年間発電量 1,000 MWh/年	1	
+	1.2 大規模太陽光発電システムの導入	大規模な太陽光発電システムがどの程度導入されているか。		0.267	
+	1.3 再生可能エネルギーシステムの導入	太陽光発電システム以外の再生可能エネルギーを利用するシステムがどの程度導入されているか。	電力消費で30kW以上50kW未満採用 年間依存率 7.113% 年間発電量又は年間省エネルギー量実績 200 MWh/年 200 GJ/年	0.5	
		システム名称	エネルギー利用形態	発電容量又は熱利用容量	
		バイオマス発電システム	電力系統連系有り	20 kW	200 MWh/年
		地中熱・地下水利用システム	電力以外	200 MJ/h	200 GJ/年
2. オフサイトの再生可能エネルギーの利用					
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点	
○	2.1 オフサイトの再生可能エネルギー発電設備の導入	事業所の敷地外に、自己託送又はオフサイトPPAによる事業所への電力供給を目的とした再生可能エネルギー発電設備の電力が、どの程度供給されているか。	システム名称 太陽光発電システム 風力発電システム バイオマス発電システム バイオマス発電システム 水力発電システム 追加性の有無 ○ ○ ○ ○ 年間電力量 40 MWh/年 300 MWh/年 60 MWh/年 100 MWh/年 1,000 MWh/年	1	
+	2.2 追加性等のあるオフサイトの再生可能エネルギー発電設備の導入	事業所の敷地外に、自己託送又はオフサイトPPAによる事業所への電力供給を目的とした追加性等のある再生可能エネルギー発電設備が、どの程度導入されているか。		1	
3. 電気需給契約等による再生可能エネルギーの利用					
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点	
○	3.1 再生可能エネルギー電気の購入	再生可能エネルギー電気が、購入電力量に対して、どの程度の割合で購入されているか。	80%以上購入	1	
+	3.2 追加性等のある再生可能エネルギー電気の購入	追加性等のある再生可能エネルギー電気が、購入電力量に対して、どの程度の割合で購入されているか。	80%以上購入	1	
4. 電気需要最適化					
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点	
○	4.1 駐車場のZEV充電設備の整備	駐車場にZEV充電設備がどの程度導入されているか。	ZEV充電設備実装 ZEV充電設備配管等	- -	
+	4.2 デマンドレスポンスに対応した設備の導入	デマンドレスポンスに対応した蓄電・蓄熱システム等がどの程度導入されているか。	下げDR対応のみ	0.5	
+	4.3 小売電気事業者等とのデマンドレスポンス契約	小売電気事業者等とインセンティブ型のデマンドレスポンス契約を締結し、需給調整が実施されているか。	契約のみ	0.5	
V. 事業所のゼロエミッション化や環境配慮等の取組に関する事項					
1. CO2排出・エネルギー消費等の削減					
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点	
◎	1.1 ゼロエミッション化へのロードマップの策定	事業所内での取組の他、オフサイトの再生可能エネルギー発電設備、再生可能エネルギー電気の購入等を含めたゼロエミッション化へのロードマップの策定がどの程度実施されているか。	策定・公表	1	
○	1.2 ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化へのロードマップの策定	事業所内での取組の促進により、ZEB化へのロードマップの策定がどの程度実施されているか。	策定・公表	1	
◎	1.3 CO2排出量の削減実績	CO2排出量実績が、基準排出量に対して、どの程度の割合で削減されているか。	50.0%削減	0.2	
○	1.4 一次エネルギー消費量の削減実績	一次エネルギー消費量実績が、基準一次エネルギー消費量に対して、どの程度の割合で削減されているか。	40.0%削減	0.68	
○	1.5 再生可能エネルギー電気の利用割合	再生可能エネルギー電気が、電力消費量に対して、どの程度の割合で利用されているか。	100%利用	1	
○	1.6 特定温室効果ガス以外の温室効果ガス排出量の削減実績	前年度の特定温室効果ガス以外の温室効果ガス(CO2(特定温室効果ガス以外のCO2)、CH4、N2O、HFC、PFC、SF6、NF3)の排出量が、その他ガス削減量算定ガイドラインに示す基準排出量に対して、どの程度の割合で削減されているか。	45%以上60%未満削減	0.5	
2. 気候変動適応策					
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点	
○	2.1 気候変動への適応	浸水被害や、停電、断水等への対策が、どの程度実施されているか。	浸水被害への備え 雨水流出抑制 災害時用の自家発電設備等の設置 災害時の給排水機能の確保 災害時の換気機能の確保 防災備蓄倉庫の確保	1 0.8 0.5 1 1 0 0	
			地盤面から45cm以上で実施 500m ³ /ha以上1000m ³ /ha未満で実施		
3. その他の環境配慮の取組					
No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点	
○	3.1 持続可能な低炭素資材等の導入	建設・更新等において、持続可能な低炭素資材等が、どの程度導入されているか。	躯体材料における低炭素資材の利用 躯体材料におけるリサイクル材の利用 躯体材料以外における低炭素資材の利用 躯体材料以外におけるリサイクル材の利用	0.8 1 0.5 1 0.5	
+	3.2 建設時のCO2排出量の把握と低減	建設に伴い排出されるCO2排出量が算出され、その排出量を低減するための対策を実施しているか。	実施無し	0	
+	3.3 テナント工事に伴うCO2排出量を低減させる貸方基準書等の整備	省資源化や廃棄物の削減等、テナント工事に伴うCO2排出量を低減させる貸方基準書等が整備されているか。	整備無し	0	
+	3.4 ウェルネスに関する環境認証の取得	ウェルネスに関する環境ラベリング認証が取得されているか。	取得	1	

地球温暖化対策推進状況評価 建築物環境計画書連携

1. 建物外皮の省エネルギー性能

No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点	得点																														
1 (II 2.1)	高性能な建物外皮の導入	<p>主たる建築物に高性能な建物外皮がどの程度導入されているか。 ※モデル建物法で算出した場合、BPImの欄に記入 ※標準入力法で算出した場合、PAL*の値の欄に記入</p> <p>(事業所内に複数の建物がある場合) ※事業所内に複数の建物がある場合は、各建物の計算結果及び延床面積を記入することで、事業所全体のPAL*低減率(BPI)が自動計算される。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建物ごとの延床面積 [m²]</th> <th>BPIm</th> <th colspan="2">PAL*の値 [MJ/m²・年]</th> <th>平均低減率</th> <th>PAL*低減率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>基準値</th> <th>設計値</th> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20,000.0</td> <td></td> <td>250</td> <td>200</td> <td>18%</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>10,000.0</td> <td>0.90</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>5,000.0</td> <td></td> <td>400</td> <td>300</td> <td></td> <td>25%</td> </tr> </tbody> </table>	建物ごとの延床面積 [m ²]	BPIm	PAL*の値 [MJ/m ² ・年]		平均低減率	PAL*低減率			基準値	設計値			20,000.0		250	200	18%	20%	10,000.0	0.90				10%	5,000.0		400	300		25%		0.695	1.564
建物ごとの延床面積 [m ²]	BPIm	PAL*の値 [MJ/m ² ・年]		平均低減率	PAL*低減率																														
		基準値	設計値																																
20,000.0		250	200	18%	20%																														
10,000.0	0.90				10%																														
5,000.0		400	300		25%																														

2. 設備システムの高効率化

No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点	得点																														
1	設備システムの高効率化	<p>主たる建築物の省エネルギー性能がどの程度か。 ※モデル建物法で算出した場合、BEImの欄に記入 ※標準入力法で算出した場合、一次エネルギー消費量の欄に記入</p> <p>(事業所内に複数の建物がある場合) ※事業所内に複数の建物がある場合は、各建物の計算結果及び延床面積を記入することで、事業所全体のERR (BEI) が自動計算される。なお、全ての建物を標準入力法で算出している場合は、設計値の合計/基準値の合計で平均ERRを計算する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建物ごとの延床面積 [m²]</th> <th>BEIm</th> <th colspan="2">一次エネルギー消費量 [GJ/年]</th> <th>平均ERR</th> <th>ERR</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>基準値</th> <th>設計値</th> <td></td> <td></td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20,000.0</td> <td></td> <td>30,000</td> <td>9,000</td> <td>50%</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>20,000.0</td> <td>0.70</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>10,000.0</td> <td></td> <td>10,000</td> <td>5,000</td> <td></td> <td>50%</td> </tr> </tbody> </table>	建物ごとの延床面積 [m ²]	BEIm	一次エネルギー消費量 [GJ/年]		平均ERR	ERR			基準値	設計値			20,000.0		30,000	9,000	50%	70%	20,000.0	0.70				30%	10,000.0		10,000	5,000		50%		0.861	31.292
建物ごとの延床面積 [m ²]	BEIm	一次エネルギー消費量 [GJ/年]		平均ERR	ERR																														
		基準値	設計値																																
20,000.0		30,000	9,000	50%	70%																														
20,000.0	0.70				30%																														
10,000.0		10,000	5,000		50%																														

3. 未評価技術に関する性能

No.	評価項目	評価内容	取組状況の程度	評価点	得点
1 (II 1.1)	自然採光を利用したシステムの導入	自然採光を利用したシステムが、主たる室用途の床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。	採用	1	3.038
2 (II 1.2)	自然通風を利用したシステムの導入	自然通風を利用したシステムが、主たる室用途の床面積に対して、どの程度の割合で導入されているか。	採用	1	
3 (II 1.5)	年間を通して安定した地中温度を利用したシステムの導入	クールトレンチ、ヒートトレンチその他の年間を通して安定した地中温度の利用のための措置が導入されているか。	採用	1	
4 (II 3a.13)	空調1次ポンプ変流量制御の導入	空調1次ポンプの台数制御又はインバータによる変流量制御が、空調1次ポンプ総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	95%以上に採用	1	
5 (II 3a.14)	冷却水ポンプ変流量制御の導入	冷却水ポンプの台数制御又はインバータによる変流量制御が、冷却水ポンプ総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	50%以上70%未満に採用	0.5	
6 (II 3a.15)	空調2次ポンプの末端差圧制御の導入	空調2次ポンプの末端差圧制御等が、空調2次ポンプ総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	50%未満に採用又は採用無し	0	
7 (II 3a.19)	冷却塔ファンインバータ制御の導入	冷却塔ファンのインバータ制御が、冷却塔ファン総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	95%以上に採用	1	
8 (II 3a.20)	フリークーリングシステムの導入	有効に機能するフリークーリングシステムが導入されているか。	採用	1	
9 (II 3a.25)	空調2次ポンプの送水圧力設定制御の導入	空調2次ポンプの送水圧力設定制御が、空調2次ポンプ総電動機出力に対して、どの程度の割合で導入されているか。	95%以上に採用	1	
10 (II 3b.13)	CO ₂ 濃度による外気量制御の導入	CO ₂ 濃度による外気量制御が、空調用総外気導入量(厨房用を除く。)に対して、どの程度の割合で導入されているか。	70%以上95%未満に採用	0.8	
11 (II 3b.26)	デシカント空調システムの導入	デシカント空調システムが、空調用総外気導入量(厨房用を除く。)に対して、どの程度の割合で導入されているか。	50%未満に採用又は採用無し	0	
12 (II 3c.4)	照明のゾーニング制御の導入	照明の点滅区分の細分化と、主たる廊下、エントランスホール、駐車場等の間引きによるゾーニング制御がどの程度導入されているか。	採用無し	0	
13 (II 3c.5)	高効率変圧器の導入	超高効率変圧器が、600Vを超え7,000V以下の総変圧器容量に対して、どの程度の割合で導入されているか。	採用	1	

地球温暖化対策推進状況評価 重み係数一覧表(第一区分事業所)

※ 評価分類の欄の◎印は必須項目、○印は一般項目、+印は加点項目を示す。

評価項目の区分		評価分類	No.	評価項目	要求事項配分比率又はエネルギー消費先比率	要求事項内の配分比率又は省エネ率	用途補正係数	適用範囲補正係数	得点換算係数	重み係数	
I 一般管理事項	1. CO2削減推進体制の整備	◎	1.1	CO2削減推進会議等の設置及び開催	0.1	0.6	1	1	10.000	0.600	
		◎	1.2	PDCA管理サイクルの実施体制の整備		0.4	1	1	10.000	0.400	
		+	1.3	環境認証の取得		0.1	1	1	8.000	0.080	
	2. 図面、管理標準等の整備	◎	2.1	図面・改修履歴等の整備	0.1	0.3	1	1	10.000	0.300	
		◎	2.2	設備台帳等の整備		0.3	1	1	10.000	0.300	
		◎	2.3	管理標準等の整備		0.4	1	1	10.000	0.400	
	3. 主要設備等に関する計測・計量及び記録	◎	3.1	ビルエネルギーマネジメントシステム(BEMS)等の導入	0.2	0.25	1	1	10.000	0.500	
		◎	3.2	電力負荷状況・発電状況等の把握に必要な計測・計量設備の導入		0.1	1	1	10.000	0.200	
		◎	3.3	エネルギー消費先別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入		0.2	1	1	10.000	0.400	
		◎	3.4	系統別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入		0.15	1	1	10.000	0.300	
		○	3.5	エネルギー供給設備の分析に必要な計測・計量設備の導入		0.15	1	1	10.000	0.300	
		○	3.6	代表階又は代表エリアの使用量把握に必要な計測・計量設備の導入		0.15	1	1	10.000	0.300	
		+	3.7	空調の使用量に応じた課金体系の導入		0.2	1	1	8.000	0.320	
	4. エネルギー消費量・CO2排出量の管理	◎	4.1	エネルギー消費特性の把握、エネルギー消費原単位の算出及び管理	0.55	0.04	1	1	10.000	0.220	
		◎	4.2	CO2排出量の管理		0.02	1	1	10.000	0.110	
		◎	4.3	CO2削減目標の設定、CO2削減対策計画の立案及び実績の集約・評価の実施		0.2	1	1	10.000	1.100	
		◎	4.4	CO2削減対策の啓発活動の実施		0.04	1	1	10.000	0.220	
		○	4.5	エネルギー供給設備の運転解析の実施		0.1	1	1	10.000	0.550	
		◎	4.6	改善策の立案・実施及び効果検証の実施		0.2	1	1	10.000	1.100	
○		4.7	コミッションング(性能検証)の実施	0.35		1	1	10.000	1.925		
○		4.8	利用者等への環境・エネルギー情報提供システムの導入	0.05		1	1	10.000	0.275		
5. 保守・点検の管理	◎	5.1	保守・点検計画の策定及び実施	0.05	1	1	1	10.000	0.500		
II 建物及び設備性能に関する事項	1. 自然エネルギーの利用	○	1.1	自然採光を利用したシステムの導入	0.198	0.04	1	1	105.485	0.835	
		○	1.2	自然通風を利用したシステムの導入	0.432	0.033	1	1	105.485	1.504	
		+	1.4	未利用エネルギーシステムの導入	1.000	0.014	1	1	84.388	1.181	
		+	1.5	年間を通して安定した地中温度を利用したシステムの導入	0.432	0.002	1	1	84.388	0.073	
		2. 建物外皮の省エネルギー性能	○	2.1	高性能な建物外皮の導入	0.043	0.68	1	1	105.485	3.084
	○		2.2	風除室、回転扉等による隙間風対策の導入	0.043	0.04	1	1	105.485	0.181	
	○		2.3	屋上緑化の導入	0.043	0.02	1	1	105.485	0.091	
	+		2.4	ブラインドの日射制御及びスケジュール制御の導入	0.043	0.008	1	1	84.388	0.029	
	+		2.5	壁面緑化の導入	0.043	0.015	1	1	84.388	0.054	
	3. 設備・制御系の省エネルギー性能		a. 熱源・熱搬送設備	◎	3a.1	高効率熱源機器の導入	0.249	0.282	1.06	0.98	105.485
		◎		3a.2	高効率冷却塔の導入	0.044	0.097	1.06	0.941	105.485	0.449
		◎		3a.3	高効率空調用ポンプの導入	0.044	0.143	1.06	0.98	105.485	0.689
		◎		3a.5	大温度差送水システムの導入	0.029	0.24	1.06	0.98	105.485	0.763
		◎		3a.6	水搬送経路の密閉化	0.029	0.16	1.06	0.98	105.485	0.508
		◎		3a.7	蒸気弁・フランジ部の断熱	0.249	0.007	1.06	0.98	105.485	0.191
		◎		3a.8	熱源の台数制御の導入	0.249	0.015	1.06	0.98	105.485	0.409
		◎		3a.9	冷却塔ファン等の台数制御又は発停制御の導入	0.044	0.03	1.06	0.941	105.485	0.139
		◎		3a.10	空調2次ポンプ変流量制御の導入	0.029	0.18	1.06	0.98	105.485	0.572
		○		3a.11	空調2次ポンプの適正容量分割又は小容量ポンプの導入	0.029	0.11	1.06	0.98	105.485	0.350
		○		3a.12	熱源機器出口設定温度の遠方制御の導入	0.249	0.006	1.06	0.98	105.485	0.164
		○		3a.13	空調1次ポンプ変流量制御の導入	0.044	0.088	1.06	0.98	105.485	0.424
		○		3a.14	冷却水ポンプ変流量制御の導入	0.044	0.1	1.06	0.941	105.485	0.463
		○		3a.15	空調2次ポンプの末端差圧制御の導入	0.029	0.1	1.06	0.98	105.485	0.318
		○		3a.16	熱交換器の断熱	0.249	0.007	1.06	0.98	105.485	0.191
		+		3a.17	蓄熱システムの導入	0.249	0.05	1.06	1	84.388	1.114
		+		3a.18	高効率コージェネレーションの導入	0.249	0.05	1.06	1	84.388	1.114
+		3a.19		冷却塔ファンインバータ制御の導入	0.044	0.03	1.06	0.941	84.388	0.111	
+		3a.20		フリークーリングシステムの導入	0.432	0.006	1.06	1	84.388	0.232	
+		3a.22		配管摩擦低減剤(DR剤)の導入	0.029	0.15	1.06	0.98	84.388	0.381	
+		3a.23		中温冷水利用システムの導入	0.249	0.02	1.06	0.98	84.388	0.437	
+	3a.24	統合熱源制御システムの導入	0.249	0.04	1.06	0.98	84.388	0.873			
+	3a.25	空調2次ポンプの送水圧力設定制御の導入	0.029	0.05	1.06	0.98	84.388	0.127			
+	3a.26	エネルギーの面的利用の導入	0.249	0.02	1.06	0.98	84.388	0.437			

評価項目の区分		評価分類	No.	評価項目	要求事項 配分比率 又はエネルギー 消費先 比率	要求事項 内の配分 比率又は 省エネ率	用途 補正 係数	適用 範囲 補正 係数	得点換 算係数	重み係数	
II 建物及び設備性能に関する事項	3 設備・制御系の省エネルギー性能	b. 空調・換気設備	◎ 3b.1	高効率空調機の導入	0.110	0.165	1.06	0.889	105.485	1.804	
			◎ 3b.2	高効率パッケージ形空調機の導入	0.432	0.3	1.06	0.02	105.485	0.290	
			◎ 3b.3	高効率ファンの導入	0.094	0.12	1.025	1	105.485	1.220	
			◎ 3b.4	ウォーミングアップ時の外気遮断制御の導入	0.122	0.06	1.06	1	105.485	0.818	
			○ 3b.5	エレベーター機械室の温度制御の導入	0.094	0.016	1.025	1	105.485	0.163	
			○ 3b.6	電気室の温度制御の導入	0.094	0.048	1.025	1	105.485	0.488	
			○ 3b.7	電算室の冷気と暖気が混合しない設備の導入	0.432	0.03	1.06	0.044	105.485	0.064	
			○ 3b.8	空調機の変風量システムの導入	0.110	0.26	1.06	0.889	105.485	2.843	
			○ 3b.9	大空間の居住域空調又は局所空調システムの導入	0.432	0.01	1.06	1	105.485	0.483	
			○ 3b.10	空調機の気化式加湿器の導入	0.122	0.03	1.06	1	105.485	0.409	
			○ 3b.11	空調温度制御の不感帯の設定	0.432	0.02	1.06	0.889	105.485	0.859	
			○ 3b.12	外気冷房システムの導入	0.432	0.031	1.06	0.889	105.485	1.331	
			○ 3b.13	CO2濃度による外気量制御の導入	0.122	0.189	1.06	1	105.485	2.578	
			○ 3b.14	ファンコイルユニットの比例制御の導入	0.029	0.4	1.06	0.017	105.485	0.022	
			○ 3b.15	空調のセキュリティー連動制御の導入	0.432	0.01	1.06	0.484	105.485	0.234	
			○ 3b.16	空調の最適起動制御の導入	0.432	0.01	1.06	1	105.485	0.483	
			○ 3b.17	非使用室の空調発停制御の導入	0.432	0.005	1.06	1	105.485	-	
			○ 3b.18	駐車場ファンのCO又はCO2濃度制御の導入	0.094	0.2	1.025	0.298	105.485	0.606	
			○ 3b.19	熱源機械室ファンの燃焼機器等連動停止制御の導入	0.094	0.01	1.025	1	105.485	0.102	
			+	3b.20	全熱交換器の導入	0.122	0.18	1.06	1	84.388	1.964
			+	3b.21	大温度差送風空調システムの導入	0.110	0.048	1.06	0.889	84.388	0.420
			+	3b.22	床吹出空調システムの導入	0.110	0.11	1.06	0.775	84.388	0.839
			+	3b.23	放射冷暖房空調システムの導入	0.432	0.051	1.06	1	84.388	1.971
			+	3b.24	冷却除湿再熱方式以外の除湿システムの導入	0.432	0.007	1.06	1	84.388	0.270
			+	3b.25	潜熱・顕熱分離方式省エネ空調システムの導入	0.249	0.032	1.06	1	84.388	0.713
			+	3b.26	デシカント空調システムの導入	0.122	0.12	1.06	0.889	84.388	1.164
			+	3b.27	ハイブリッド空調システムの導入	0.432	0.022	1.06	0.889	84.388	0.756
			+	3b.28	置換換気システムの導入	0.094	0.08	1.025	1	84.388	0.650
			+	3b.29	電算室の局所冷房設備の導入	0.432	0.03	1.06	0.044	84.388	0.051
			+	3b.30	高効率厨房換気システムの導入	0.432	0.16	1.06	0.054	84.388	0.334
			+	3b.31	空調機の間欠運転制御の導入	0.110	0.1	1.06	0.889	84.388	0.875
			+	3b.32	厨房外調機・ファンの風量モード切替制御の導入	0.432	0.076	1.06	0.054	84.388	0.159
			+	3b.33	厨房外調機の換気モード切替制御の導入	0.432	0.02	1.06	0.054	84.388	0.042
			+	3b.34	人感センサーによる換気制御の導入	0.094	0.016	1.025	1	84.388	0.130
			+	3b.35	ファンの手動調整用インバータの導入	0.110	0.2	1.06	1	84.388	1.968
			+	3b.36	気流感知出ファン・サーキュレーションファンの導入	0.432	0.01	1.06	1	84.388	0.386
			+	3b.37	厨房排気の熱回収システムの導入	0.432	0.15	1.06	0.054	84.388	0.313
c. 照明・電気設備	◎ 3c.1	高効率照明器具の導入	0.198	0.188	1	1	105.485	3.927			
	◎ 3c.2	高輝度型誘導灯・蓄光型誘導灯の導入	0.198	0.018	1	1	105.485	0.376			
	◎ 3c.3	照明の初期照度補正制御の導入	0.198	0.105	1	0.484	105.485	1.061			
	◎ 3c.4	照明のゾーニング制御の導入	0.198	0.05	1	1	105.485	1.044			
	◎ 3c.5	高効率変圧器の導入	0.051	0.085	1	1	105.485	0.457			
	○ 3c.7	高効率UPSの導入	0.178	0.015	1	0.044	105.485	0.012			
	○ 3c.8	照明の昼光利用照明制御の導入	0.198	0.07	1	0.484	105.485	0.708			
	○ 3c.9	照明の人感センサーによる在室検知制御の導入	0.198	0.03	1	1	105.485	0.627			
	○ 3c.10	照明のタイムスケジュール制御の導入	0.198	0.025	1	1	105.485	0.522			
	○ 3c.11	照明のセキュリティー連動制御の導入	0.198	0.02	1	0.484	105.485	0.202			
	○ 3c.12	デマンド制御システムの導入	0.051	0.057	1	1	105.485	0.307			
	+	3c.13	タスク&アンビエント照明システムの導入	0.198	0.25	1	0.484	84.388	2.022		
	+	3c.14	高効率給電設備の導入	0.051	0.15	1	1	84.388	0.646		
	+	3c.15	照明の明るさ感知による自動点滅制御の導入	0.198	0.008	1	1	84.388	0.134		
	+	3c.16	照明の局所制御の導入	0.198	0.04	1	1	84.388	0.668		
	+	3c.17	誘導灯の消灯制御の導入	0.198	0.01	1	1	84.388	0.167		
	+	3c.18	事務室のセンサーによる照明制御単位の細分化	0.198	0.03	1	0.484	84.388	0.243		
	d. 給排水・給湯設備	◎ 3d.1	高効率給水ポンプの導入	0.007	0.1	1	1	105.485	0.074		
○ 3d.2		大便器の節水器具の導入	0.007	0.22	1	1	105.485	0.162			
○ 3d.4		洗面器の自動水栓の導入	0.007	0.03	1	1	105.485	0.022			
○ 3d.6		便所洗面・湯沸室への局所給湯システムの導入	0.015	0.03	1	1	105.485	0.047			
+		3d.7	排水再利用システム等の導入	0.007	0.052	1	1	84.388	0.031		
+		3d.8	高効率給湯ヒートポンプユニットの導入	0.015	0.292	1	1	84.388	0.370		
+		3d.9	自然冷媒ヒートポンプ給湯器の導入	0.015	0.167	1	1	84.388	0.211		
+		3d.10	潜熱回収給湯器の導入	0.015	0.1	1	1	84.388	0.127		
+		3d.11	水道本管圧力利用システムの導入	0.007	0.1	1	1	84.388	0.059		

評価項目の区分		評価分類	No.	評価項目	要求事項 配分比率 又はエネルギー 消費先 比率	要求事項 内の配分 比率又は 省エネ率	用途 補正 係数	適用 範囲 補正 係数	得点換 算係数	重み係数	
II 建物及び設備性能に関する事項	3 ・ 設備・制御系の省エネルギー性	e. 昇降機設備	◎ 3e.1	エレベーターの可変電圧可変周波数制御方式の導入	0.025	0.5	1	1	105.485	1.319	
			◎ 3e.2	エレベーターの群管理制御の導入	0.025	0.1	1	1	105.485	0.264	
			○ 3e.3	エレベーターかご内の照明、ファン等の不使用時停止制御の導入	0.025	0.02	1	1	105.485	0.053	
			+	3e.4	エレベーターの電力回生制御の導入	0.025	0.111	1	1	84.388	0.234
			+	3e.5	エスカレーターの自動運転方式又は微速運転方式の導入	0.025	0.012	1	1	84.388	0.025
		f. その他	+	3f.3	高効率冷凍・冷蔵設備の導入	1.000	0.384	1	0.001	84.388	0.032
			+	3f.4	高効率エアコンプレッサーの導入	0.051	0.01	1	1	84.388	0.043
			+	3f.5	高効率ブロワ・その他設備に係る高効率ポンプの導入	0.051	0.01	1	1	84.388	0.043
			+	3f.6	高効率クリーンルームの導入	0.432	0.158	1	0	84.388	0.000
			+	3f.7	高効率厨房機器の導入	0.051	0.1	1	0.054	84.388	0.023
			+	3f.8	ブロワ・その他設備に係るポンプのインバータ制御の導入	0.051	0.01	1	1	84.388	0.043
			+	3f.9	ドラフトチャンバーの換気量可変制御システムの導入	0.122	0.05	1	1	84.388	0.515
			III 事業所及び設備の運用に関する事項	1 ・ 運用管理	a. 熱源・熱搬送設備	◎ 1a.1	燃焼機器の空気比の管理	0.249	0.02	1	0.98
◎ 1a.2	蒸気ボイラーの設定圧力の適正化	0.249				0.007	1	0	-	-	
◎ 1a.3	冷凍機の冷却水温度設定値の調整	0.249				0.016	1	0.98	215.942	0.843	
+	1a.4	熱のエネルギー効率の実績				0.249	0.03	1	0.98	172.754	1.265
○ 1a.5	部分負荷時の熱源運転の適正化	0.249				0.03	1	0.98	215.942	1.581	
○ 1a.6	部分負荷時の空調用ポンプ運転の適正化	0.029				0.12	1	0.98	215.942	0.736	
○ 1a.7	蒸気ボイラーの給水水質・フロー量の管理	0.249				0.007	1	0	-	-	
○ 1a.8	熱源機器の冷温水出口温度設定値の調整	0.249				0.015	1	0.98	215.942	0.790	
○ 1a.9	蓄熱槽の管理	0.249				0.021	1	1	215.942	1.129	
○ 1a.10	コージェネレーションの運転の適正化	0.249				0.021	1	1	-	-	
○ 1a.12	ミキシングロス防止のためのバルブ開度の確認	0.249				0.005	1	0.98	215.942	0.263	
○ 1a.13	インバータ制御系統のバルブの開度調整	0.029				0.05	1	0.98	215.942	0.307	
○ 1a.14	熱源不要期間の熱源機器等停止	0.249				0.01	1	0.98	-	-	
○ 1a.15	空調開始時の熱源起動時間の適正化	0.249				0.01	1	0.98	-	-	
○ 1a.16	空調停止時の熱源運転時間の短縮	0.249				0.04	1	0.98	-	-	
○ 1a.17	空調2次ポンプ変流量制御のインバータ周波数下限値の調整	0.029				0.06	1	0.98	215.942	0.368	
○ 1a.18	再生可能エネルギー等熱利用システムのバックアップ運転の適正化	0.249				0.01	1	0.98	215.942	0.527	
b. 空調・換気設備	◎ 1b.1	室使用開始時の空調起動時間の適正化				0.432	0.013	1	1	215.942	1.213
	◎ 1b.2	CO2濃度・外気温湿度による外気取入量の調整			0.122	0.015	1	1	215.942	0.395	
	◎ 1b.3	居室の室内温度の適正化			0.432	0.015	1	1	215.942	1.399	
	◎ 1b.4	ファンの間欠運転の実施			0.094	0.05	1	1	215.942	1.015	
	○ 1b.5	電算室の空調機運転の適正化			0.432	0.03	1	0.044	215.942	0.123	
	○ 1b.6	空調運転時間の短縮			0.432	0.013	1	1	215.942	1.213	
	○ 1b.7	冬季におけるペリメータ設定温度の適正化			0.043	0.05	1	1	215.942	0.464	
	○ 1b.8	クールビズ・ウォームビズによる空調設定温度の緩和			0.432	0.023	1	0.484	215.942	1.038	
	○ 1b.9	居室以外の室内温度の緩和			0.432	0.005	1	1	215.942	0.466	
	○ 1b.10	冷却除湿再熱の停止			0.432	0.01	1	1	-	-	
	○ 1b.11	建物全体の給排気バランスの管理			0.432	0.005	1	1	215.942	0.466	
	○ 1b.12	エレベーター機械室・電気室の室内設定温度の適正化			0.094	0.035	1	1	215.942	0.710	
	○ 1b.13	エレベーター機械室・電気室のファンの夏季停止			0.094	0.045	1	1	215.942	0.913	
	○ 1b.14	エレベーター機械室・電気室の空調機の給気・還気設定温度の適正化			0.094	0.015	1	1	215.942	0.304	
	+	1b.15			冬季冷房になる室の設定温度の適正化	0.432	0.004	1	1	172.754	0.299
	+	1b.16			ファンのプーリーダウンの実施	0.094	0.015	1	1	172.754	0.244
	+	1b.17			地下駐車場のスロープ等からの自然給気	0.094	0.075	1	0.298	172.754	0.363
	+	1b.18			パッケージ形空調機の省エネチューニングの実施	0.249	0.05	1	0.02	172.754	0.043
	+	1b.19			変流量システムの最小風量設定値の調整	0.110	0.06	1	0.889	172.754	1.014
	+	1b.20			変流量システムのインバータ周波数下限値の調整	0.110	0.06	1	0.889	172.754	1.014
	+	1b.21			厨房外調機の換気モード切替制御による換気モード運転の適正化	0.432	0.02	1	0.054	172.754	0.081
	c. 照明・電気設備	◎ 1c.1			居室以外の照度条件の緩和	0.198	0.06	1	1	215.942	2.565
		○ 1c.2			清掃等の日常メンテナンス作業時の照明点灯時間・照度条件の適正化	0.198	0.01	1	1	215.942	0.428
		○ 1c.3			不要期間・不要時間帯の変圧器の遮断	0.051	0.01	1	1	-	-
○ 1c.4		事務室の室内照度の適正化			0.198	0.03	1	0.484	215.942	0.621	
+		1c.5	事務室の照度条件の緩和	0.198	0.05	1	0.484	172.754	0.828		
+		1c.6	時間外等の照明点灯エリアの集約化	0.198	0.01	1	1	172.754	0.342		
+		1c.7	人感センサーのタイマー設定時間の適正化	0.198	0.01	1	1	172.754	0.342		
d. 給排水・給湯設備	◎ 1d.1	給水圧力の管理	0.007	0.08	1	1	215.942	0.121			
	◎ 1d.2	貯湯温度設定の緩和	0.015	0.05	1	1	-	-			
	○ 1d.3	揚水ポンプのバルブの開度調整	0.007	0.05	1	1	215.942	0.076			
	○ 1d.4	洗浄便座暖房の夏季停止	0.007	0.2	1	1	215.942	0.302			
	○ 1d.5	給水・給湯バルブの調整	0.007	0.05	1	1	215.942	0.076			
	○ 1d.6	給湯温度設定の緩和	0.015	0.05	1	1	215.942	0.162			
	○ 1d.7	貯湯式電気温水器の夜間・休日の電源停止	0.015	0.05	1	1	215.942	0.162			
	○ 1d.8	便所洗面給湯の給湯中止又は給湯期間の短縮	0.015	0.1	1	1	215.942	0.324			
	○ 1d.9	給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止	0.015	0.05	1	1	-	-			

評価項目の区分		評価分類	No.	評価項目	要求事項 配分比率 又はエネルギー 消費先 比率	要求事項 内の配分 比率又は 省エネ率	用途 補正 係数	適用 範囲 補正 係数	得点換 算係数	重み係数
Ⅲ 事業所及び設備の運用に関する事項	1 運用管理	e. 昇降機設備	○	1e.1 夜間・休日等のエレベーターの運転台数の削減	0.025	0.01	1	1	215.942	0.054
			○	1e.2 エレベーターかご内の空調設定温度の緩和	0.025	0.01	1	1	215.942	0.054
		f. その他	○	1f.1 外部に面する出入口の開閉の管理	0.432	0.005	1	1	215.942	0.466
			○	1f.2 非稼働エリアのエア供給弁の閉止	0.051	0.01	1	1		-
			○	1f.3 非使用時間帯のエアコンプレッサーの停止	0.051	0.01	1	1		-
			○	1f.4 エアコンプレッサーの設定圧力の適正化	0.051	0.01	1	1		-
			○	1f.5 エアコンプレッサー吸入空気温度の管理	0.051	0.01	1	1		-
			○	1f.6 冷凍・冷蔵設備冷却器の除霜(デフロスト)の実施	1.000	0.01	1	0.001		-
	○		1f.7 情報通信施設のPUEの実績	1.000	0.008	1	1		-	
	+		1f.8 情報通信施設のPUEの改善	1.000	0.008	1	1	172.754	1.382	
	2 保守管理	a. 熱源・熱搬送設備	◎	2a.1 熱源機器の点検・清掃	0.249	0.012	1	0.98	215.942	0.632
			◎	2a.2 冷却水の適正な水質管理及び冷却塔の充填材の清掃	0.044	0.008	1	0.941	215.942	0.072
			○	2a.3 熱源用制御機器の点検及び制御バルブ等の作動チェック	0.249	0.004	1	0.98	215.942	0.211
			○	2a.4 熱交換器の清掃	0.044	0.004	1	0.98	215.942	0.037
			○	2a.5 蒸気配管・バルブ・スチームトラップからの漏れ点検	0.249	0.004	1	0.98		-
			+	2a.6 熱源機器のメーカーによる遠隔監視	0.249	0.002	1	0.98	172.754	0.084
			b. 空調・換気設備	◎	2b.1 空調機・ファンコイルユニット等のフィルターの清浄	0.110	0.008	1	1	215.942
		○		2b.2 センサー類の精度チェック及び制御ダンパ等の作動チェック	0.432	0.002	1	1	215.942	0.187
		○		2b.3 空調機・ファンコイルユニット等のコイルフィン等の清浄	0.110	0.002	1	1	215.942	0.048
		○		2b.4 パッケージ屋外機のフィンコイル洗浄	0.249	0.002	1	0.02	215.942	0.002
		○		2b.5 省エネファンベルトへの交換	0.094	0.027	1	1	215.942	0.548
		+		2b.6 パッケージ形空調機のメーカーによる遠隔監視	0.249	0.002	1	0.02	172.754	0.002
		c. 照明・電気設備	○	2c.1 照明用制御設備の作動チェック	0.198	0.004	1	1	215.942	0.171
			○	2c.2 照明器具の清掃及び定期的なランプ交換	0.198	0.004	1	1	215.942	0.171
			○	2c.3 ランプ交換時の初期照度補正リセットの実施	0.198	0.002	1	1		-
		f. その他	○	2f.1 冷凍・冷蔵庫の保温管理	1.000	0.002	1	0.001		-
			○	2f.2 エア配管・バルブからの漏れ点検及びエアコンプレッサー吸込みフィルターの清掃	0.051	0.004	1	1		-
Ⅳ 事業所の事業用途に関する再生可能エネルギー		1. オンサイトの再生可能エネルギーの利用	○	1.1 太陽光発電システムの導入	0.330	1	1	1	11.111	3.667
			+	1.2 大規模太陽光発電システムの導入	0.000	2	1	1	8.889	5.867
	+		1.3 再生可能エネルギーシステムの導入	0.000	0.4	1	1	8.889	1.173	
	2. オフサイトの再生可能エネルギーの利用	○	2.1 オフサイトの再生可能エネルギー発電設備の導入	0.330	1	1	1	11.111	3.667	
		+	2.2 追加性等のあるオフサイトの再生可能エネルギー発電設備の導入	0.000	2	1	1	8.889	5.867	
	3. 電気需給契約等による再生可能エネルギーの利用	○	3.1 再生可能エネルギー電気の購入	0.240	1	1	1	11.111	2.667	
		+	3.2 追加性等のある再生可能エネルギー電気の購入	0.000	1	1	1	8.889	2.133	
	4. 電気需要最適化	○	4.1 駐車場のZEV充電設備の整備	0.100	1	1	1		-	
		+	4.2 デマンドレスポンスに対応した設備の導入	0.000	1	1	1	8.889	0.889	
		+	4.3 小売電気事業者等とのデマンドレスポンス契約	0.000	1	1	1	8.889	0.889	
	Ⅴ 事業所等のゼロエミッションに関する事項	1. CO2排出・エネルギー消費等の削減	◎	1.1 ゼロエミッション化へのロードマップの策定	0.900	0.25	1	1	10.000	2.250
			○	1.2 ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化へのロードマップの策定	0.000	0.12	1	1	10.000	1.080
◎			1.3 CO2排出量の削減実績	0.000	0.25	1	1	10.000	2.250	
○			1.4 一次エネルギー消費量の削減実績	0.000	0.15	1	1	10.000	1.350	
○			1.5 再生可能エネルギー電気の利用割合	0.000	0.15	1	1	10.000	1.350	
○			1.6 特定温室効果ガス以外の温室効果ガス排出量の削減実績	0.000	0.08	1	1	10.000	0.720	
2. 気候変動適応策		○	2.1 気候変動への適応	0.050	1	1	1	10.000	0.500	
3. その他の環境配慮の取組		○	3.1 持続可能な低炭素資材等の導入	0.050	1	1	1	10.000	0.500	
		+	3.2 建設時のCO2排出量の把握と低減	0.000	0.5	1	1	8.000	0.200	
		+	3.3 テナント工事に伴うCO2排出量を低減させる貸方基準書等の整備	0.000	0.5	1	1	8.000	0.200	
		+	3.4 ウェルネスに関する環境認証の取得	0.000	0.2	1	1	8.000	0.080	

地球温暖化対策推進状況評価結果一覧表(第一区分事業所)【複数管理者用貼付用】

* 評価分類の欄の◎印は必須項目、○印は一般項目、+印は加点項目を示す。
 不合格の要件の欄の×印は、トップレベル事業所の必須要件を満足しない場合を示す。

評価項目の区分	No.	評価項目	評価分類	不合格要件	得点	最高得点	
I 一般管理事項	1. CO2削減推進体制の整備	1.1 CO2削減推進会議等の設置及び開催	◎		0.480	0.600	
		1.2 PDCA管理サイクルの実施体制の整備	◎		0.400	0.400	
		1.3 環境認証の取得	+		0.000		
	2. 図面・管理標準等の整備	2.1 図面・改修履歴等の整備	◎		0.300	0.300	
		2.2 設備台帳等の整備	◎		0.300	0.300	
		2.3 管理標準等の整備	◎		0.400	0.400	
	3. 主要設備等に関する計測・計量及び記録	3.1 ビルエネルギーマネジメントシステム(BEMS)等の導入	◎		0.500	0.500	
		3.2 電力負荷状況・発電状況等の把握に必要な計測・計量設備の導入	◎		0.200	0.200	
		3.3 エネルギー消費先別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入	◎		0.400	0.400	
		3.4 系統別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入	◎		0.300	0.300	
		3.5 エネルギー供給設備の分析に必要な計測・計量設備の導入	○		0.300	0.300	
		3.6 代表階又は代表エリアの使用量把握に必要な計測・計量設備の導入	○		0.300	0.300	
		3.7 空調の使用量に応じた課金体系の導入	+		0.000		
	4. エネルギー消費量・CO2排出量の管理	4.1 エネルギー消費特性の把握、エネルギー消費原単位の算出及び管理	◎		0.220	0.220	
		4.2 CO2排出量の管理	◎		0.110	0.110	
		4.3 CO2削減目標の設定、CO2削減対策計画の立案及び実績の集約・評価の実施	◎		1.100	1.100	
		4.4 CO2削減対策の啓発活動の実施	◎		0.220	0.220	
		4.5 エネルギー供給設備の運転解析の実施	○		0.550	0.550	
		4.6 改善策の立案・実施及び効果検証の実施	◎		1.100	1.100	
		4.7 コミッショニング(性能検証)の実施	○		1.925	1.925	
4.8 利用者等への環境・エネルギー情報提供システムの導入		○		0.138	0.275		
5. 保守・点検の管理	5.1 保守・点検計画の策定及び実施	◎		0.500	0.500		
II 建物及び設備性能に関する事項	1. 自然エネルギーの利用	1.1 自然採光を利用したシステムの導入	○		0.167	0.835	
		1.2 自然通風を利用したシステムの導入	○		1.504	1.504	
		1.4 未利用エネルギーシステムの導入	+		1.181		
		1.5 年間を通して安定した地中温度を利用したシステムの導入	+		0.000		
		2.1 高性能な建物外皮の導入	○		1.557	3.084	
	2. 建物外皮の省エネルギー性能	2.2 風除室、回転扉等による隙間風対策の導入	○		0.172	0.181	
		2.3 屋上緑化の導入	○		0.091	0.091	
		2.4 ブラインドの日射制御及びスケジュール制御の導入	+		0.023		
		2.5 壁面緑化の導入	+		0.000		
		3. 設備・制御系の省エネルギー性能	a. 熱源・熱搬送設備	3a.1 高効率熱源機器の導入	◎		7.363
	3a.2 高効率冷却塔の導入			◎		0.384	0.449
	3a.3 高効率空調用ポンプの導入			◎		0.621	0.689
	3a.5 大温度差送水システムの導入			◎		0.763	0.763
	3a.6 水搬送経路の密閉化			◎		0.508	0.508
	3a.7 蒸気弁・フランジ部の断熱			◎	×	0.000	0.191
	3a.8 熱源の台数制御の導入			◎		0.409	0.409
	3a.9 冷却塔ファン等の台数制御又は発停制御の導入			◎		0.139	0.139
	3a.10 空調2次ポンプ変流量制御の導入			◎		0.572	0.572
	3a.11 空調2次ポンプの適正容量分割又は小容量ポンプの導入			○		0.350	0.350
	3a.12 熱源機器出口設定温度の遠方制御の導入			○		0.164	0.164
	3a.13 空調1次ポンプ変流量制御の導入			○		0.339	0.424
	3a.14 冷却水ポンプ変流量制御の導入			○		0.370	0.463
	3a.15 空調2次ポンプの末端差圧制御の導入			○		0.318	0.318
	3a.16 熱交換器の断熱			○		0.191	0.191
	3a.17 蓄熱システムの導入			+		1.114	
	3a.18 高効率コージェネレーションの導入			+		1.114	
	3a.19 冷却塔ファンインバータ制御の導入			+		0.000	
	3a.20 フリークーリングシステムの導入			+		0.000	
	3a.22 配管摩擦低減剤(DR剤)の導入			+		0.000	
	3a.23 中温冷水利用システムの導入			+		0.000	
3a.24 統合熱源制御システムの導入	+				0.000		
3a.25 空調2次ポンプの送水圧力設定制御の導入	+				0.127		
3a.26 エネルギーの目的利用の導入	+				0.000		

評価項目の区分		No.	評価項目	評価分類	不合格要件	得点	最高得点	
II 建物及び設備性能に関する事項	3 設備・制御系の省エネルギー性能	b. 空調・換気設備		3b.1	高効率空調機の導入	◎	1.761	1.804
		3b.2	高効率パッケージ形空調機の導入	◎	0.238	0.290		
		3b.3	高効率ファンの導入	◎	0.874	1.220		
		3b.4	ウォーミングアップ時の外気遮断制御の導入	◎	0.818	0.818		
		3b.5	エレベーター機械室の温度制御の導入	○	0.163	0.163		
		3b.6	電気室の温度制御の導入	○	0.488	0.488		
		3b.7	電算室の冷気と暖気が混合しない設備の導入	○	0.013	0.064		
		3b.8	空調機の変風量システムの導入	○	2.843	2.843		
		3b.9	大空間の居住域空調又は局所空調システムの導入	○	0.483	0.483		
		3b.10	空調機の気化式加湿器の導入	○	0.327	0.409		
		3b.11	空調温度制御の不感帯の設定	○	0.687	0.859		
		3b.12	外気冷房システムの導入	○	1.065	1.331		
		3b.13	CO2濃度による外気量制御の導入	○	2.063	2.578		
		3b.14	ファンコイルユニットの比例制御の導入	○	0.022	0.022		
		3b.15	空調のセキュリティー連動制御の導入	○	0.234	0.234		
		3b.16	空調の最適起動制御の導入	○	0.483	0.483		
		3b.17	非使用室の空調発停制御の導入	○	-			
		3b.18	駐車場ファンのCO又はCO2濃度制御の導入	○	0.606	0.606		
		3b.19	熱源機械室ファンの燃焼機器等連動停止制御の導入	○	0.102	0.102		
		3b.20	全熱交換器の導入	+	1.571			
		3b.21	大温度差送風空調システムの導入	+	0.336			
		3b.22	床吹出空調システムの導入	+	0.000			
		3b.23	放射冷暖房空調システムの導入	+	0.000			
		3b.24	冷却除湿再熱方式以外の除湿システムの導入	+	0.000			
		3b.25	潜熱・顕熱分離方式省エネ空調システムの導入	+	0.000			
		3b.26	デシカント空調システムの導入	+	0.000			
		3b.27	ハイブリッド空調システムの導入	+	0.000			
		3b.28	置換換気システムの導入	+	0.000			
		3b.29	電算室の局所冷房設備の導入	+	0.000			
		3b.30	高効率厨房換気システムの導入	+	0.000			
		3b.31	空調機の間欠運転制御の導入	+	0.175			
		3b.32	厨房外調機・ファンの風量モード切替制御の導入	+	0.159			
		3b.33	厨房外調機の換気モード切替制御の導入	+	0.042			
		3b.34	人感センサーによる換気制御の導入	+	0.000			
		3b.35	ファンの手動調整用インバータの導入	+	0.394			
		3b.36	気流感創出ファン・サーキュレーションファンの導入	+	0.000			
		3b.37	厨房排気の熱回収システムの導入	+	0.000			
c. 照明・電気設備		3c.1	高効率照明器具の導入	◎	2.085	3.927		
3c.2	高輝度型誘導灯・蓄光型誘導灯の導入	◎	0.376	0.376				
3c.3	照明の初期照度補正制御の導入	◎	1.061	1.061				
3c.4	照明のゾーニング制御の導入	◎	1.044	1.044				
3c.5	高効率変圧器の導入	◎	0.412	0.457				
3c.7	高効率UPSの導入	○	0.012	0.012				
3c.8	照明の昼光利用照明制御の導入	○	0.708	0.708				
3c.9	照明の人感センサーによる在室検知制御の導入	○	0.627	0.627				
3c.10	照明のタイムスケジュール制御の導入	○	0.522	0.522				
3c.11	照明のセキュリティー連動制御の導入	○	0.202	0.202				
3c.12	デマンド制御システムの導入	○	0.307	0.307				
3c.13	タスク&アンビエント照明システムの導入	+	0.000					
3c.14	高効率給電設備の導入	+	0.646					
3c.15	照明の明るさ感知による自動点滅制御の導入	+	0.134					
3c.16	照明の局所制御の導入	+	0.000					
3c.17	誘導灯の消灯制御の導入	+	0.000					
3c.18	事務室のセンサーによる照明制御単位の細分化	+	0.000					
d. 給排水・給湯設備		3d.1	高効率給水ポンプの導入	◎	0.074	0.074		
3d.2	大便器の節水器具の導入	○	0.162	0.162				
3d.4	洗面器の自動水栓の導入	○	0.022	0.022				
3d.6	便所洗面・湯沸室への局所給湯システムの導入	○	0.047	0.047				
3d.7	排水再利用システム等の導入	+	0.031					
3d.8	高効率給湯ヒートポンプユニットの導入	+	0.000					
3d.9	自然冷媒ヒートポンプ給湯器の導入	+	0.000					
3d.10	潜熱回収給湯器の導入	+	0.000					
3d.11	水道本管圧力利用システムの導入	+	0.000					

評価項目の区分		No.	評価項目	評価分類	不合格要件	得点	最高得点	
II 建物及び設備性能に関する事項	3 ・設備・制御系の省エネルギー性	e. 昇降機設備	3e.1 エレベーターの可変電圧可変周波数制御方式の導入	◎		1.319	1.319	
			3e.2 エレベーターの群管理制御の導入	◎		0.264	0.264	
			3e.3 エレベーターかご内の照明、ファン等の不使用時停止制御の導入	○		0.053	0.053	
			3e.4 エレベーターの電力回生制御の導入	+		0.234		
			3e.5 エスカレーターの自動運転方式又は微速運転方式の導入	+		0.025		
	f. その他	3f.3 高効率冷凍・冷蔵設備の導入	+		0.024			
		3f.4 高効率エアコンプレッサーの導入	+		0.000			
		3f.5 高効率ブロワ・その他設備に係る高効率ポンプの導入	+		0.000			
		3f.6 高効率クリーンルームの導入	+		0.000			
		3f.7 高効率厨房機器の導入	+		0.000			
		3f.8 ブロワ・その他設備に係るポンプのインバータ制御の導入	+		0.000			
		3f.9 ドラフトチャンバーの換気量可変制御システムの導入	+		0.000			
		III 事業所及び設備の運用に関する事項	1 ・運用管理	a. 熱源・熱搬送設備	1a.1 燃焼機器の空気比の管理	◎		1.054
1a.2 蒸気ボイラーの設定圧力の適正化	◎					-		
1a.3 冷凍機の冷却水温度設定値の調整	◎					0.843	0.843	
1a.4 熱のエネルギー効率の実績	+					0.632		
1a.5 部分負荷時の熱源運転の適正化	○					1.581	1.581	
1a.6 部分負荷時の空調用ポンプ運転の適正化	○					0.736	0.736	
1a.7 蒸気ボイラーの給水水质・ブロー量の管理	○					-		
1a.8 熱源機器の冷温水出口温度設定値の調整	○					0.790	0.790	
1a.9 蓄熱槽の管理	○					1.129	1.129	
1a.10 コージェネレーションの運転の適正化	○					-		
1a.12 ミキシングロス防止のためのバルブ開度の確認	○					0.263	0.263	
1a.13 インバータ制御系統のバルブの開度調整	○					0.307	0.307	
1a.14 熱源不要期間の熱源機器等停止	○					-		
1a.15 空調開始時の熱源起動時間の適正化	○					-		
1a.16 空調停止時の熱源運転時間の短縮	○					-		
1a.17 空調2次ポンプ変流量制御のインバータ周波数下限値の調整	○					0.184	0.368	
1a.18 再生可能エネルギー等熱利用システムのバックアップ運転の適正化	○					0.000	0.527	
b. 空調・換気設備	1b.1 室使用開始時の空調起動時間の適正化				◎		1.213	1.213
	1b.2 CO2濃度・外気温湿度による外気取入量の調整				◎		0.395	0.395
	1b.3 居室の室内温度の適正化				◎		1.399	1.399
	1b.4 ファンの間欠運転の実施		◎		1.015	1.015		
	1b.5 電算室の空調機運転の適正化		○		0.123	0.123		
	1b.6 空調運転時間の短縮		○		0.679	1.213		
	1b.7 冬季におけるペリメータ設定温度の適正化		○		0.464	0.464		
	1b.8 クールビズ・ウォームビズによる空調設定温度の緩和		○		0.519	1.038		
	1b.9 居室以外の室内温度の緩和		○		0.466	0.466		
	1b.10 冷却除湿再熱の停止		○		-			
	1b.11 建物全体の給排気バランスの管理		○		0.466	0.466		
	1b.12 エレベーター機械室・電気室の室内設定温度の適正化		○		0.710	0.710		
	1b.13 エレベーター機械室・電気室のファンの夏季停止		○		0.913	0.913		
	1b.14 エレベーター機械室・電気室の空調機の給気・還気設定温度の適正化		○		0.304	0.304		
	1b.15 冬季冷房になる室の設定温度の適正化		+		0.299			
	1b.16 ファンのプリーダウンの実施		+		0.000			
	1b.17 地下駐車場のスロープ等からの自然給気		+		0.363			
	1b.18 パッケージ形空調機の省エネチューニングの実施		+		0.000			
	1b.19 変流量システムの最小風量設定値の調整		+		0.203			
	1b.20 変流量システムのインバータ周波数下限値の調整		+		1.014			
	1b.21 厨房外調機の換気モード切替制御による換気モード運転の適正化		+		0.081			
c. 照明・電気設備	1c.1 居室以外の照度条件の緩和		◎		2.181	2.565		
	1c.2 清掃等の日常メンテナンス作業時の照明点灯時間・照度条件の適正化		○		0.214	0.428		
	1c.3 不要期間・不要時間帯の変圧器の遮断		○		-			
	1c.4 事務室の室内照度の適正化		○		0.497	0.621		
	1c.5 事務室の照度条件の緩和		+		0.000			
	1c.6 時間外等の照明点灯エリアの集約化		+		0.000			
	1c.7 人感センサーのタイマー設定時間の適正化		+		0.274			
d. 給排水・給湯設備	1d.1 給水圧力の管理		◎		0.121	0.121		
	1d.2 貯湯温度設定の緩和		◎		-			
	1d.3 揚水ポンプのバルブの開度調整	○		0.076	0.076			
	1d.4 洗浄便座暖房の夏季停止	○		0.302	0.302			
	1d.5 給水・給湯バルブの調整	○		0.076	0.076			
	1d.6 給湯温度設定の緩和	○		0.162	0.162			
	1d.7 貯湯式電気温水器の夜間・休日の電源停止	○		0.162	0.162			
	1d.8 便所洗面給湯の給湯中止又は給湯期間の短縮	○		0.259	0.324			
	1d.9 給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止	○		-				

評価項目の区分		No.	評価項目	評価分類	不合格要件	得点	最高得点
Ⅲ 事業所及び設備の運用に関する事項	1 運用管理	e. 昇降機設備	1e.1 夜間・休日等のエレベーターの運転台数の削減	○		0.054	0.054
			1e.2 エレベーターかご内の空調設定温度の緩和	○		0.043	0.054
		f. その他	1f.1 外部に面する出入口の閉閉の管理	○		0.466	0.466
			1f.2 非稼働エリアのエア供給弁の閉止	○		-	
			1f.3 非使用時間帯のエアコンプレッサーの停止	○		-	
			1f.4 エアコンプレッサーの設定圧力の適正化	○		-	
			1f.5 エアコンプレッサー吸入空気温度の管理	○		-	
			1f.6 冷凍・冷蔵設備冷却器の除霜(デフロスト)の実施	○		-	
			1f.7 情報通信施設のPUEの実績	○		-	
	1f.8 情報通信施設のPUEの改善		+		0.000		
	2 保守管理	a. 熱源・熱搬送設備	2a.1 熱源機器の点検・清掃	◎		0.632	0.632
			2a.2 冷却水の適正な水質管理及び冷却塔の充填材の清掃	◎		0.072	0.072
			2a.3 熱源用制御機器の点検及び制御バルブ等の作動チェック	○		0.211	0.211
			2a.4 熱交換器の清掃	○		0.037	0.037
			2a.5 蒸気配管・バルブ・スチームトラップからの漏れ点検	○		-	
			2a.6 熱源機器のメーカーによる遠隔監視	+		0.000	
		b. 空調・換気設備	2b.1 空調機・ファンコイルユニット等のフィルターの清浄	◎		0.190	0.190
			2b.2 センサー類の精度チェック及び制御ダンパ等の作動チェック	○		0.187	0.187
			2b.3 空調機・ファンコイルユニット等のコイルフィン等の清浄	○		0.048	0.048
			2b.4 パッケージ屋外機のフィンコイル洗浄	○		0.002	0.002
			2b.5 省エネファンベルトへの交換	○		0.548	0.548
			2b.6 パッケージ形空調機のメーカーによる遠隔監視	+		0.000	
		c. 照明・電気設備	2c.1 照明用制御設備の作動チェック	○		0.171	0.171
			2c.2 照明器具の清掃及び定期的なランプ交換	○		0.000	0.171
			2c.3 ランプ交換時の初期照度補正リセットの実施	○		-	
		f. その他	2f.1 冷凍・冷蔵庫の保温管理	○		-	
			2f.2 エア配管・バルブからの漏れ点検及びエアコンプレッサー吸込みフィルターの清掃	○		-	

第2号様式(優良特定地球温暖化対策事業所の認定ガイドライン(第一区分事業所))その1

熱源機器

最も古い設備の設置年度 最も新しい設備の設置年度

No	設置年度	機器記号	熱源機種	No.2		No.4		No.5		II 3a.1									
				最大供給能力対象		水冷熱源機器	蒸気ボイラー	熱源容量 [kW]		台数	定格エネルギー消費量			再生可能エネルギー	インバータターボ冷凍機	年間熱製造量実績 [GJ/年]		定格COP 実行効率	
				冷熱源	温熱源			冷却能力	加熱能力		冷熱源	温熱源	エネルギー種別			冷熱源	温熱源	冷熱源	温熱源
取組状況の程度				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
合計				13,537kW	5,808kW	13,010kW	0kW	16,174kW	5,808kW	7台	—	—	—	—	—	0GJ/年	0GJ/年	—	—
1	2014	TR-1	ターボ冷凍機			○		2,637		1	412		[kW]電気				6.40		
2	2014	RH-1	直焚吸収冷温水機	○	○	○		2,461	1,936	1	6,570	7,965	[MJ/h]ガス				1.35	0.88	
3	2014	RH-2	直焚吸収冷温水機	○	○	○		2,461	1,936	1	6,570	7,965	[MJ/h]ガス				1.35	0.88	
4	2014	RH-3	直焚吸収冷温水機	○	○	○		2,461	1,936	1	6,570	7,965	[MJ/h]ガス				1.35	0.88	
5	2014	AR-1	温水吸収冷凍機	○		○		351		1	1,805		[MJ/h]温水	○			0.70		
6	2014	TR-2	ターボ冷凍機	○		○		2,637		1	412		[kW]電気		○		6.40		
7	2014	HEX-C	熱交換器	○				3,165		1									
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			
21																			
22																			
23																			
24																			
25																			
26																			
27																			
28																			
29																			
30																			

第2号様式(優良特定地球温暖化対策事業所の認定ガイドライン(第一区分事業所))その2

冷却塔

最も古い設備の設置年度 2014 2013年度以降設置の設備の割合 100.0%

No	設置年度	機器記号	機器名称	No.9	—	—	—	No.18	No.19	—	II 3a.2							II 3a.9		II 3a.19	
				水熱源パッケージ形空調機用	白煙防止形	ファン単体の電動機出力11kW以上	冷却能力[kW]	電動機出力[kW]		台数	ファン				散水ポンプ			冷却塔ファン等の台数制御又は発停制御	ボールチェーン制御・インバータ制御(単体11kW以上)	冷却塔ファンのインバータ制御	
								ファン	散水ポンプ		省エネ形	モータ直結形ファン	永久磁石(IPM)モータ	プレミアム効率(IE3)モータ	高効率(IE2)モータ	永久磁石(IPM)モータ	プレミアム効率(IE3)モータ				高効率(IE2)モータ
取組状況の程度				—	—	—	—	—	—	—	100%	0%	0%	20%	80%	—	—	—	100%	—	0%
合計				0kW	0.0kW	0.0kW	17,699.8kW	112.0kW	0.0kW	4台	112.0kW	0.0kW	0.0kW	22.0kW	90.0kW	0.0kW	0.0kW	0.0kW	112.0kW	0.0kW	0.0kW
1	2014	CT-TR-1	ターボ冷凍機用冷却塔				3,636.4	22.0		1	○			○				○			
2	2014	CT-RH-1-3	冷温水発生機用冷却塔				4,687.8	30.0		3	○			○				○			
3																					
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					
9																					
10																					
11																					
12																					
13																					
14																					
15																					
16																					
17																					
18																					
19																					
20																					
21																					
22																					
23																					
24																					
25																					
26																					
27																					
28																					
29																					
30																					

第2号様式(優良特定地球温暖化対策事業所の認定ガイドライン(第一区分事業所))その3

空調用ポンプ

最も古い設備の設置年度 **2014** 2013年度以降設置の設備の割合 **100.0%**

No	設置年度	機器記号	機器名称	No.21	No.22	No.23	No.20	—	II 3a.3			—	II 3a.10	II 3a.11	II 3a.13	II 3a.14	II 3a.15	II 3a.25		
				種別			電動機出力 [kW]		台数	永久磁石 (IPM) モータ	プレミアム効率 (IE3) モータ		高効率 (IE2) モータ	インバータ制御	空調2次ポンプの台数制御及びインバータによる変流量制御	空調2次ポンプの3台以上に分割又は小容量ポンプ	空調1次ポンプの台数制御又はインバータによる変流量制御	冷却水ポンプの台数制御又はインバータによる変流量制御	空調2次ポンプの末端差圧制御	空調2次ポンプの送水圧力設定制御
				空調2次ポンプ	空調1次ポンプ	冷却水ポンプ														
取組状況の程度				—	—	—	—	—	48%	47%	0%	—	100%	100%	77%	73%	100%	100%		
合計				343.5kW	195.0kW	310.0kW	848.5kW	30台	403.5kW	400.0kW	0.0kW	718.5kW	343.5kW	343.5kW	150.0kW	225.0kW	343.5kW	343.5kW		
1	2014	CDP-TR-1	ターボ冷凍機用冷却水ポンプ			○	30.0	1												
2	2014	CP-TR-1	ターボ冷凍機用冷水ポンプ		○		15.0	1												
3	2014	PCD-TR-1	ターボ冷凍機用冷却水ポンプ			○	55.0	1		○										
4	2014	PC-TR-1	ターボ冷凍機用冷水ポンプ		○		30.0	1		○										
5	2014	PCD-RH-1-3	直焚吸収冷水機用冷却水ポンプ			○	75.0	3		○					○					
6	2014	PCH-RH-1-3	直焚吸収冷水機用冷水ポンプ		○		30.0	3		○				○						
7	2014	PC-HEX-1	蓄熱槽冷水1次ポンプ		○		30.0	1	○		○			○						
8	2014	PC-HEX-2	蓄熱槽冷水2次ポンプ		○		30.0	1	○		○			○						
9	2014	PC-L-1-3	冷水低層系統2次ポンプ	○			11.0	3	○		○	○				○	○			
10	2014	PH-L-1-3	温水低層系統2次ポンプ	○			11.0	3	○		○	○				○	○			
11	2014	PC-M-1-3	冷水中層系統2次ポンプ	○			22.0	3	○		○	○				○	○			
12	2014	PH-M-1-3	温水中層系統2次ポンプ	○			18.5	3	○		○	○				○	○			
13	2014	PC-H-1-3	冷水高層系統2次ポンプ	○			30.0	3	○		○	○				○	○			
14	2014	PH-H-1-3	温水高層系統2次ポンプ	○			22.0	3	○		○	○				○	○			
15																				
16																				
17																				
18																				
19																				
20																				
21																				
22																				
23																				
24																				
25																				
26																				
27																				
28																				
29																				
30																				

第2号様式(優良特定地球温暖化対策事業所の認定ガイドライン(第一区分事業所))その5

空調機その2

No	設置年度	機器記号	機器名称	II 3b.4	II 3b.8	II 3b.10	II 3b.13	II 3b.14	II 3b.20	II 3b.21	II 3b.26	II 3b.31	II 3b.32	II 3b.33	II 3b.35
				ウォーミングアップ時の外気遮断制御	空調機の変風量システム	空調機の気化式加湿器	CO2濃度による外気量制御	ファンコイルユニットの比例制御	全熱交換器	大温度差送風空調システム	デシカント空調システム	空調機の間欠運転制御	厨房外調機の風量モード切替制御	厨房外調機の換気モード切替制御	ファンの手動調整用インバータ
取組状況の程度				—	98%	—	—	100%	—	74%	0%	15%	—	—	—
合計				432,820m ³ /h	611.3kW	328,800m ³ /h	322,160m ³ /h	230.0kW	333,860m ³ /h	458.8kW	0m ³ /h	93.0kW	86,100m ³ /h	86,100m ³ /h	254.1kW
1	2014	AC-TER-B3F	B3F特高電気室												
2	2014	AC-ER-B3F	B3F電気室1												
3	2014	OAC-SP1-3-B1F	B1F店舗1～3												
4	2014	OAC-SP4-10-B1F	B1F店舗4～10	○									○	○	○
5	2014	AC-EH-B1F	B1Fエントランスホール	○	○	○									
6	2014	AC-EH-1F	1Fエントランスホール	○	○										
7	2014	AC-OEH-2F	2Fオフィスエントランスホール	○	○	○									
8	2014	AC-CE-3F	3F会議場エントランス	○	○										
9	2014	AC-DK-3F	3F大会議室	○	○	○	○		○						
10	2014	OAC-CK-3F	3F中小会議室	○					○						○
11	2014	OAC-4-33F	4～33F事務室外調機	○		○	○		○						○
12	2014	AC-1I-4-33F	4～33F事務室1インテリア		○					○					
13	2014	AC-1P-4-33F	4～33F事務室1ペリメータ		○							○			
14	2014	AC-2I-4-33F	4～33F事務室2インテリア		○					○					
15	2014	AC-2P-4-33F	4～33F事務室2ペリメータ		○							○			
16	2014	AC-3I-4-33F	4～33F事務室3インテリア		○					○					
17	2014	AC-3P-4-33F	4～33F事務室3ペリメータ		○							○			
18	2014	AC-4I-4-33F	4～33F事務室4インテリア		○					○					
19	2014	AC-4P-4-33F	4～33F事務室4ペリメータ		○							○			
20	2014	OAC-34F	34F事務室外調機	○		○	○		○						○
21	2014	AC-1I-34F	34F事務室1インテリア		○					○					
22	2014	AC-1P-34F	34F事務室1ペリメータ		○							○			
23	2014	AC-2I-34F	34F事務室2インテリア		○					○					
24	2014	AC-2P-34F	34F事務室2ペリメータ		○							○			
25	2014	AC-3I-34F	34F事務室3インテリア		○					○					
26	2014	AC-3P-34F	34F事務室3ペリメータ		○							○			
27	2014	AC-4I-34F	34F事務室4インテリア		○					○					
28	2014	AC-4P-34F	34F事務室4ペリメータ		○							○			
29	2014	AC-EV-14F	14FEV機械室												
30	2014	AC-EV-25F	25FEV機械室												

パッケージ形空調機

最も古い設備の設置年度 **2014** 2013年度以降設置の設備の割合 **100.0%**

No	設置年度	機器記号	機器名称	No.8	No.9	—	—	—	—	—	No.30	—	II 3b.2							II 3b.4	II 3b.10	II 3b.13	II 3b.20	II 3b.32	II 3b.33					
				種別					使用用途			高効率機器					設置方法		ウォーミングアップ時の外気遮断制御	空調の気化式加湿器	CO2濃度による外気量制御	全熱交換器	厨房外調機の風量モード切替制御	厨房外調機の換気モード切替制御						
				空気熱源	水熱源	電気式	ガスインジヒートポンプ式	電算用	冷房能力 [kW]	暖房能力 [kW]	外気導入量 [m³/h]	台数	24時間空調外気導入	厨房外気導入	医療施設用外気導入	通年エネルギー消費効率 APF	冷暖房平均 COP	インバータ制御							高効率冷媒 R410A	GHP+EHP 一体型空調システム	冷媒蒸発温度自動変更機能	冷媒配管の長さ (片道) [m]	屋外機のショートサーキット無し	屋外機の散水システム
取組状況の程度				—	—				—	—	—	—	0%	96%	0%	0%	0%	0%	0%	<36m	100%	0%	—	—	—	—	—	—	—	
合計				283.0kW	0.0kW	1,067.0kW	0.0kW	784.0kW	1,067.0kW	81.5kW	0m³/h	22台	0m³/h	0m³/h	0m³/h	0.0kW	1,025.0kW	0.0kW	0.0kW	0.0kW	0.0kW	—	1,067.0kW	0.0kW	0m³/h	0m³/h	0m³/h	0m³/h	0m³/h	0m³/h
1	2014	OACP-BC-1F	1F防災センター	○		○			45.0	50.0		1																		
2	2014	OACP-MDF-B1F	B1FMDF室	○		○			28.0			1																		
3	2014	OACP-ER1.2-PHF	PHF電気室	○		○			56.0			2																		
4	2014	OACP-EV1.2-PHF	PHF ELV機械室	○		○			28.0			2																		
5	2014	OACP-EV3-PHF	PHF ELV機械室E1	○		○			28.0	31.5		1																		
6	2014	OACP-EV4-PHF	PHF ELV機械室E2	○		○			14.0			1																		
7	2014	ACP-1	サーバー室			○		○	56.0			14																		
8																														
9																														
10																														
11																														
12																														
13																														
14																														
15																														
16																														
17																														
18																														
19																														
20																														
21																														
22																														
23																														
24																														
25																														
26																														
27																														
28																														
29																														
30																														

第2号様式(優良特定地球温暖化対策事業所の認定ガイドライン(第一区分事業所))その7

ファン

最も古い設備の設置年度 **2014** 2013年度以降設置の設備の割合 **100.0%**

No	設置年度	機器記号	機器名称	No.10					No.30					No.11				II 3b.3				II 3b.4	II 3b.13	II 3b.18	II 3b.32	II 3b.35		
				送風量 [m ³ /h]	電動機出力 [kW]	台数	使用用途					モータ直結形ファン	ECモータ・永久磁石(IPM)モータ	プレミアム効率(IE3)モータ	高効率(IE2)モータ	ウォーミングアップ時の外気遮断制御	CO2濃度による外気量制御	駐車場ファンのCO又はCO2濃度制御	厨房ファンの风量モード切換制御	ファンの手動調整用インバータ								
							空調用外気導入	24時間空調外気導入	厨房用外気導入	医療施設用外気導入	自走式駐車場用																	
取組状況の程度				-	-	-	-	-	-	-	-	-	13%	0%	91%	0%	-	-	100%	-	-							
合計				580,500m ³ /h	179.3kW	111台	0m ³ /h	0m ³ /h	0m ³ /h	0m ³ /h	53.5kW	23.0kW	0.0kW	163.8kW	0.0kW	0m ³ /h	0m ³ /h	53.5kW	0m ³ /h	46.0kW								
1	2014	FS-MR-B3F	B3F機械室給気	33,000	7.5	1						○		○														
2	2014	FE-MR-B3F	B3F機械室排気	33,000	7.5	1								○														
3	2014	FS-WT-B3F	B3F受水槽室給気	9,900	3.7	1								○														
4	2014	FE-WT-B3F	B3F受水槽室排気	9,900	2.2	1								○														
5	2014	FS-WS-B3F	B3F中水処理室給気	6,200	2.2	1								○														
6	2014	FE-WS-B3F	B3F中水処理室排気	6,200	1.5	1								○														
7	2014	FS-FP-B3F	B3F消火ポンプ室給気	4,900	2.2	1								○														
8	2014	FE-FP-B3F	B3F消火ポンプ室排気	4,900	1.5	1								○														
9	2014	FS-TER-B3F	B3F特高電気室給気	12,300	3.7	1								○														
10	2014	FE-TER-B3F	B3F特高電気室排気	12,300	3.7	1								○														
11	2014	FS-ER-B3F	B3F電気室給気	27,600	7.5	1								○														
12	2014	FE-ER-B3F	B3F電気室排気	27,600	7.5	1								○														
13	2014	FS-FB-B3F	B3F消火ポンベ室給気	3,200	1.5	1								○														
14	2014	FE-FB-B3F	B3F消火ポンベ室排気	3,200	1.1	1								○														
15	2014	FS-GE-B3F	B3F発電機室(常用)給気	16,400	3.7	1								○														
16	2014	FE-GE-B3F	B3F発電機室(常用)排気	16,400	3.7	1								○														
17	2014	FS-PK-B2F	B2F駐車場給気	33,000	18.5	2						○		○											○			
18	2014	FE-PK-B2F	B2F駐車場排気	33,000	5.5	2						○		○											○			
19	2014	FE-PK-B1F	B1F駐車場排気	30,300	5.5	1						○		○											○			
20	2014	FE-SP1-10-B1F	B1F店舗1~3 排気	6,080	0.75	3								○													○	
21	2014	FE-SP1-10-B1F	B1F店舗客席4~10 排気	2,200	0.75	7								○													○	
22	2014	FE-SPK1-10-B1F	B1F店舗厨房4~10 排気	10,100	5.5	7								○													○	
23	2014	FE-SM-B1F	B1F喫煙室排気	1,530	0.55	1						○																
24	2014	FE-WC-B1F	B1F便所排気	1,000	0.2	1						○																
25	2014	FE-WC-1F	1F便所排気	1,780	0.55	1						○																
26	2014	EF-SM-2F	2F喫煙室排気	2,030	0.75	1						○																
27	2014	FE-WC-2F	2F便所排気	2,080	0.75	1						○																
28	2014	EF-SM-3F	3F喫煙室排気	2,030	0.75	1						○																
29	2014	FE-WC-3F	3F便所排気	2,410	0.75	1						○																
30	2014	FE-WC-4-33F	4~33F便所排気	1,000	0.18	60						○																

第2号様式(優良特定地球温暖化対策事業所の認定ガイドライン(第一区分事業所))その8の1

照明器具－標準入力

No	器具番号	主たる室用途	室名称等	床面積 [㎡]	No.12	No.13	No.14	No.15	主たる室用途の床面積比率	II 3c.1					II 3c.3	II 3c.8
					事務室の床面積 [㎡]	客室の床面積 [㎡]	教室の床面積 [㎡]	研究室の床面積 [㎡]		主たるランプ種類	1台当たりの消費電力 [W]	台数	消費電力 [W]	消費電力 [W/㎡]	照明の初期照度補正制御	照明の昼光利用照明制御
取組状況の程度				—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	98%	98%
合計				94,991㎡	62,080㎡	0㎡	0㎡	0㎡	100.0%	—	—	—	—	—	61,144㎡	61,144㎡
1	O402	倉庫	AG:更衣室又は倉庫	45					0.0%	LED	71	4	284	6		
2	O401	倉庫	AG:更衣室又は倉庫	134					0.1%	LED	37	9	333	2		
3	O401	倉庫	AG:更衣室又は倉庫	128					0.1%	LED	37	7	259	2		
4	L402	事務室(窓無し)	AA:事務室	24	○				0.0%	LED	71	6	426	18		
5	dLE2001	事務室	AA:事務室	32	○				0.0%	LED	20	15	299	9		
6	dLE1001	エントランスホール	AI:ロビー	62					0.1%	メタルハライドランプ	11	24	266	4		
7	L402	事務室	AA:事務室	67	○				0.1%	LED	71	14	994	15		
8	O401	倉庫	AG:更衣室又は倉庫	85					0.1%	LED	37	10	370	4		
9	O401	倉庫	AG:更衣室又は倉庫	45					0.0%	LED	37	6	222	5		
10	L402	事務室	AA:事務室	74	○				0.1%	LED	71	15	1,065	14		
11	O402	倉庫	AG:更衣室又は倉庫	57					0.1%	LED	71	4	284	5		
12		エントランスホール	AI:ロビー	102					0.1%							
13	dLE1001	エントランスホール	AI:ロビー							LED	11	5	56			
14	dLE2001	エントランスホール	AI:ロビー							LED	20	28	557			
15	L402	事務室	AA:事務室	47	○				0.0%	LED	71	9	639	14		
16	O402	事務室	FF:事務室	64	○				0.1%	LED	71	12	852	13		
17	O322	飲食店舗客席	FB:軽食店の客室	193					0.2%	直管形蛍光ランプHf(FHF,FHC)	87	6	522	3		
18	O322	物販店舗	DB:専門店の売場	424					0.4%	直管形蛍光ランプHf(FHF,FHC)	87	14	1,218	3		
19		エントランスホール	FI:ロビー	768					0.8%							
20	dLE19ウ	エントランスホール	FI:ロビー							LED	20	68	1,353			
21	dLE19エ	エントランスホール	FI:ロビー							LED	20	21	418			
22	dLE19ア	エントランスホール	FI:ロビー							LED	20	63	1,254			
23	duLE197	エントランスホール	FI:ロビー							LED	20	30	597			
24	dLE14イ	エントランスホール	FI:ロビー							LED	14	8	112			
25	dLE35	エントランスホール	FI:ロビー							LED	36	30	1,065			
26	dLE53	エントランスホール	FI:ロビー							LED	54	18	963			
27		事務室	AA:事務室	264	○				0.3%							
28	L402	事務室	AA:事務室		○					LED	71	54	3,834			
29	A205	事務室	AA:事務室		○					LED	68	4	272			
30	dLE197	事務室	AA:事務室		○					LED	20	2	40			

第2号様式(優良特定地球温暖化対策事業所の認定ガイドライン(第一区分事業所))その8の2

照明器具－簡易入力

用途	主たる室用途	床面積 [㎡]	No.12	No.13	No.14	No.15	主たる室用途の床面積 比率	II 3c.1		II 3c.3	II 3c.8
			事務室の床 面積 [㎡]	客室の 床面積 [㎡]	教室の 床面積 [㎡]	研究室の床 面積 [㎡]		主たるランプ種類	消費電力 [W/㎡]	照明の初期照 度補正制御	照明の昼光利 用照明制御
取組状況の程度		—	—	—	—	—	—	—	—	100%	100%
合計		78,520㎡	48,420㎡	0㎡	0㎡	0㎡	—	—	—	48,420㎡	48,420㎡
共通	エントランスホール	2,700					2.7%	ハロゲン電球	9.5		
	廊下	9,300					9.3%	LED	4.0		
	便所	4,500					4.5%	LED	8.5		
	倉庫										
	駐車場	8,000					8.0%	LED	3.0		
	事務室	48,420					48.4%	LED	10.0	100%に採用	100%に採用
	会議室										
	電算室	600					0.6%	LED	10.0		
商業施設	物販店舗	500					0.5%	LED	20.0		
	飲食店舗客席	1,050					1.1%	LED	15.0		
	飲食店舗厨房	450					0.5%	LED	10.0		
	店舗通路	800					0.8%	LED	10.0		
宿泊施設	ホテルロビー										
	客室										
	客室廊下										
	宴会場										
教育施設	教室										
	大教室										
	研究室										
	体育館										
医療施設	病室	300					0.3%	LED	10.0		
	診察室	100					0.1%	LED	10.0		
文化施設	会議場	1,200					1.2%	LED	15.0		
	ロビー・ホワイエ	400					0.4%	LED	18.0		
	楽屋	200					0.2%	LED	15.0		
物流施設	物流倉庫										
その他	屋内競技場										
	屋外競技場										
	屋外							把握できていない			

第2号様式(優良特定地球温暖化対策事業所の認定ガイドライン(第一区分事業所))その9

変圧器

最も古い設備の設置年度 2014 2008年度以降設置の設備の割合 100.0%

No	設置年度	盤名称	用途	相	電圧[V]		No.33 600Vを超え7,000V以下	— 定格容量 [kVA]	— 台数	II 3c.5		
					1次側	2次側				超高効率変圧器	トリアンナー変圧器 2014	トリアンナー変圧器
取組状況の程度				—	—	—	—	—	—	0%	100%	0%
合計				—	—	—	11,700kVA	20,700kVA	35台	0kVA	11,700kVA	0kVA
1	2014	特高電気室	ネットワーク変圧器	3φ3W	22,000			3,000	3			
2	2014	特高電気室	所内変圧器	3φ3W	6,600	210-105	○	50	1		○	
3	2014	電気室1	特殊階照明コンセント	1φ3W	6,600	210-105	○	200	1		○	
4	2014	電気室1	一般動力	3φ4W	6,600	420	○	500	2		○	
5	2014	電気室1	一般商業動力	3φ3W	6,600	210	○	500	2		○	
6	2014	電気室1	一般照明コンセント	1φ3W	6,600	210-105	○	300	1		○	
7	2014	電気室1	一般照明コンセント	1φ3W	6,600	210-105	○	300	1		○	
8	2014	電気室1	一般照明コンセント	1φ3W	6,600	210-105	○	300	1		○	
9	2014	電気室1	OAコンセント	1φ3W	6,600	210-105	○	300	1		○	
10	2014	電気室1	OAコンセント	1φ3W	6,600	210-105	○	500	2		○	
11	2014	電気室1	保安動力	3φ3W	6,600	210	○	150	1		○	
12	2014	電気室1	非常動力	3φ4W	6,600	420	○	300	1		○	
13	2014	電気室1	トランス盤	1φ3W	6,600	210-105	○	500	1		○	
14	2014	電気室1	トランス盤	1φ3W	6,600	210-105	○	500	2		○	
15	2014	電気室2	一般動力	3φ4W	6,600	420	○	500	1		○	
16	2014	電気室2	一般動力	3φ4W	6,600	420	○	500	1		○	
17	2014	電気室2	一般動力	3φ3W	6,600	210	○	500	1		○	
18	2014	電気室2	一般照明コンセント	1φ3W	6,600	210-105	○	300	3		○	
19	2014	電気室2	OAコンセント	1φ3W	6,600	210-105	○	300	1		○	
20	2014	電気室2	OAコンセント	1φ3W	6,600	210-105	○	500	2		○	
21	2014	電気室2	保安動力	3φ3W	6,600	210	○	100	1		○	
22	2014	電気室2	保安動力	3φ4W	6,600	420	○	300	1		○	
23	2014	電気室2	非常動力	3φ4W	6,600	420	○	300	1		○	
24	2014	電気室2	トランス盤	1φ3W	6,600	210-105	○	300	1		○	
25	2014	電気室2	トランス盤	1φ3W	6,600	210-105	○	300	2		○	
26												
27												
28												
29												
30												

第2号様式(優良特定地球温暖化対策事業所の認定ガイドライン(第一区分事業所))その10

給水ポンプ

最も古い設備の設置年度 **2014** 2013年度以降設置の設備の割合 **100.0%**

No	設置年度	機器記号	機器名称	No.34	—	No.35	—	II 3d.1			
				種別		電動機出力 [kW]	台数	推定末端差 圧一定イン バータ制御ポ ンプユニット	永久磁石 (IPM) モータ	プレミアム 効率 (IE3) モータ	高効率 (IE2) モータ
				加圧給水 ポンプ ユニット	揚水 ポンプ						
取組状況の程度				—	—	—	—	100%	0%	98%	0%
合計				45.0kW	328.0kW	380.4kW	14台	45.0kW	0.0kW	373.0kW	0.0kW
1	2014	PU-L-1	上水低層給水ポンプユニット	○		22.5	1	○		○	
2	2014	PW-M-1,2	上水中層上水揚水ポンプ		○	15.0	2			○	
3	2014	PW-H-1,2	上水高層上水揚水ポンプ		○	22.0	2			○	
4	2014	PU-L-2	雑用水低層給水ポンプユニット	○		22.5	1	○		○	
5	2014	PW-M-3,4	雑用水中層揚水ポンプ		○	22.0	2			○	
6	2014	PW-H-3,4	雑用水高層揚水ポンプ		○	30.0	2			○	
7	2014	PW-CT-1,2	冷却塔補給水揚水ポンプ		○	75.0	2			○	
8	2014	PW-R-1,2	雨水利用ポンプ			3.7	2				
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											

第2号様式(優良特定地球温暖化対策事業所の認定ガイドライン(第一区分事業所))その11

昇降機

No	号機名	No.36	No.38	No.39	No.37	—	—	II 3e.1	II 3e.2	II 3e.3	II 3e.4	II 3e.5
		種別		エレベーターが複数台設置してある箇所	電動機出力 [kW]	台数	エレベーター					エスカレーター
		エレベーター	エスカレーター				VVVF制御方式	群管理制御	かご内の照明、ファン等の不使用時停止制御	電力回生制御	自動運転方式・微速運転方式	
取組状況の程度		—	—	—	—	—	—	100%	100%	100%	98%	100%
合計		1,302.0kW	22台	29.5kW	1,208.0kW	1,331.5kW	25台	1,302.0kW	1,208.0kW	22台	1,276.0kW	29.5kW
1	L-1-6	○			○	47.0	6	○	○	○	○	
2	M-1-6	○			○	68.0	6	○	○	○	○	
3	H-1-6	○			○	82.0	6	○	○	○	○	
4	E-1,2	○				47.0	2	○		○	○	
5	P-1,2	○			○	13.0	2	○	○	○		
6	ESC-1,2			○		11.0	2					○
7	ESC-3			○		7.5	1					○
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
26												
27												
28												
29												
30												

第2号様式(優良特定地球温暖化対策事業所の認定ガイドライン(第一区分事業所))その12

冷凍・冷蔵設備

No	室名称	機器記号	機器名称	No.40	No.16	—	II 3f.3						
				冷凍設備	圧縮機 電動機 出力 [kW]	台数	冷凍庫 壁面の 高断熱化	前室の 導入	搬入口近接 センサーに よる 扉の自動 開閉化	着霜制御 (デフロスト)	圧縮機入口 ガス管の断 熱化	冷却器用 ファンの 台数制御	圧縮機 インバータ 制御
取組状況の程度				—	—	—	100%	100%	0%	100%	100%	0%	100%
合計				5.5kW	11.0kW	2台	5.5kW	11.0kW	0.0kW	11.0kW	11.0kW	0.0kW	11.0kW
1	店舗1	T-1	専用冷蔵庫1		5.5	1		○		○	○		○
2	店舗2	T-2	冷凍庫	○	5.5	1	○	○		○	○		○
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
26													
27													
28													
29													
30													

空調設備集計

種別	No.1	No.3	No.9	No.27	No.28	No.30	No.31
	建物全体の 総冷熱源容量 (地域冷暖房 受入を含む。)	建物全体の 総温熱源容量 (地域冷暖房 受入を含む。)	水熱源 パッケージ形 空調機 総冷却能力	空調用 総外気導入量 (24時間空調 部分を除く。)	空調用 総外気導入量 (厨房用を除 く。)	厨房用 総外気 導入量	ファン 総電動機 出力
合計	13,820kW	6,338kW	0kW	451,060m ³ /h	364,960m ³ /h	86,100m ³ /h	1,110.2kW
熱源機器	13,537kW	5,808kW	—	—	—	—	—
冷却塔	—	—	0kW	—	—	—	—
空調機	12,291kW	6,256kW	—	451,060m ³ /h	364,960m ³ /h	86,100m ³ /h	930.9kW
空気熱源パッケージ形空調機	283kW	82kW	—	0m ³ /h	0m ³ /h	0m ³ /h	—
水熱源パッケージ形空調機	0kW	0kW	0kW				
ファン	—	—	—	0m ³ /h	0m ³ /h	0m ³ /h	179.3kW

種別	II 3b.4	II 3b.10	II 3b.13	II 3b.20	II 3b.32	II 3b.33	II 3b.35
	ウォーミング アップ時の 外気遮断制御 の導入	空調機の 気化式加湿器 の導入	CO ₂ 濃度 による 外気量制御 の導入	全熱交換器 の導入	厨房外調機・ ファンの 風量モード 切替制御 の導入	厨房外調機の 換気モード 切替制御	ファンの 手動調整用 インバータ の導入
取組状況の程度	96%	90%	88%	91%	100%	100%	27%
合計	432,820m ³ /h	328,800m ³ /h	322,160m ³ /h	333,860m ³ /h	86,100m ³ /h	86,100m ³ /h	300.1kW
空調機	432,820m ³ /h	328,800m ³ /h	322,160m ³ /h	333,860m ³ /h	86,100m ³ /h	86,100m ³ /h	254.1kW
パッケージ形空調機	0m ³ /h	0m ³ /h	0m ³ /h	0m ³ /h	0m ³ /h	0m ³ /h	—
ファン	0m ³ /h	—	0m ³ /h	—	0m ³ /h	—	46.0kW